世の國家における御

滿洲國皇帝陛下

御內帑金御下賜

『東京十九日歳國通』 陸軍では航 一、 陸 『東京十九日歳國通』 陸軍では航 一、 陸

兵備改善費 、陸軍飛行學校令中改正の件

间

四、五千萬圓か

陸軍の航空行政擴充

附屬地外小

小學校

次事要において満洲國建國並に一

なり、十九日の閑談において左近松各飛行撃検等を擴張すること

一、一般部隊の編制及び制度の敗主要事項は

内定したがこの結門、耐壓地外小學院の如く構能の如く構能の変化無態に方針

中であるが、

民の闘連を待つて
動し再組織を委嘱した、ギリシゼのため間下上京
ス大総職は蔵にツアルダリス氏長、出犯等教育係
ス農相が酔験したためで、サイ

戦し
・ ボリシャス大統領は

直にツアルダリス氏に

学校の教材の統制を

第は最近次第に復降版にとつて不 競流ジョージニー世を練る國内情

年度兵備晩ぎ質は膨くとも四、五千萬圓に産する機線であるがその

教員の

異動實施

陸軍航空本部令中敗正の件職員の任命を見る害

わが愛國恤兵隊に金二萬圓

日

る十一月器製される國民驚の受國代表大意の総果を見て邀逐を逃せんとするもの、如くで蔣氏自身も全く内政問題と共涯った優徽である、新かる情勢にあつて国民政府能懸部は一次に愛戴な空氣に閉ざされ、駐日職職突の懇意を缺き全く成行に愛せ、唯来と傳へられ南京政界に異常の衝動を奥へ、解於環氏は武氏の行跡を記載するために家子変氏を同地に派遣するととなら、東京特電二十日發』と蔽方配よりその筋着の情報によれば、段下書島に離露中の汪精循氏は行政院長を僻する。東京特電二十日發』と蔽方配よりその筋着の情報によれば、段下書島に離露中の汪精循氏は行政院長を僻する

般の注意を喚起せんとするものでとの前提から公覧徴化力の取成を述べて一計さ公覧徴化力の取成を述べて一

北鐵の讓渡は

討伐の失敗、對日關係の難局等に直面し一定の方針を決定するの氣力を失つてゐると際へられる十月超製される國民黨の登國代義大會の繆黑を見て進速を選せんとするもの人如くで蔣氏自身も全く内政問題:共匪

(刊日)

九省聯盟新政

権と

汪精衞氏の提携計書

南京政界に異常の

治代喜本橋 人輔羅 生 順 里 南 人刷印 地番一州町景公東市进大 社報日湖京社會八株所行並

大津氏一行歸安

たこ立つた僕、一一次が捨て難い――

新京電話)與東局第一回國勢語

林陸相語る

國調主任會議

をみながら、その顔はむ 「明さん、構はないで置いて下さ だからね。遠くはなれてゐればゐ 滿洲國入り司法官

んの心の美し

近き將來奪還を期す

聯某幹部の演説要旨

便法

李交通相赴哈《哈圖濱特 ト・フーヴァー號で耐米の途に就要午後六時横濱解線のプレシデンり、十九日午後四時三十分東京縣 ルー大使婦國『東京 カチで彼の腕を舞へた。血はまだ にないンカチは、花片のやうには も、僕は邪権に、邪権をかさねむ く楽まつてきてゐた。 しろしてとして、 のばかり追ひもとめてゐて、 際神 しろしてとしましてで

・傷の方、お解みにならない?」 ・傷の方、お解みにならない?」 ・の機んだところが、その解さが、 ・今の機にとつては、快い、解さなん

一、公會堂建設臨時委員規程制定午後一時から市邀事會を搭架する大連市では左記事項に嬲し廿二日 大連市参事會 十年度戶別割第一次條時賦課 一日午後招集

(136)

部される智の観光概念の磁力

愛戀十字街

の腿から悪につたはつてゐた。 深夜の訪問者(七) 橋本 八百二縮

息をきらしながら、明子は青柳 のばかり退ひもどめてゐて、際職的なものばかり退ひもどめてゐて、際職







相模太郎 故鄉戀一 丹 下 左 謄 高田馬場駈付け 赤垣形見の徳利数島大鵬 浪花節 浪花節 編木夫改多 富 士松 津太夫 富 士松 津太夫 三 森縣 志夏三原 上欄子 舞 三 駅 朝の出がける 馬情話 同们 本部等・独月 蝶(口説の段) 木村岳風 上條數子

對日策是正意志なる 判明 より一層是化し等心國力の一概線で、當分は南京に歸らざるも言を通じ聯盟との技術合作一等に要約し得る態度を持して居る た蔣介石氏の肚裏

能費の元利支機に非常に困難を際 に入るので元利支機は全く不能 を関するが地方財政等之の は果発園市町村各種組合が預金部 では本月末本年度第二回運用表

類競部のなし

な学説調査をバスした百五十名に な学説調査をバスした百五十名に

ことになり、一兩日中に緊急應よ

の登記申請をなし、その数質に

價還期限延長

【上海特電十九日養】 電子べき院 おりの髑報に依れば、黄経端、蔣 に重要無意を設した所離親日要人 に重要無意を設した所離親日要人 に重要無意を設した所離親日要人 を要がさる。。 記ち時が位氏の會見は駆る た模様である。 記ち時が位氏は関る ろ靴日政党の根本的是正 言橋蔵相の と見られてゐる 聲

一六日午前栗山に赴き御用

來廿六日發表か

航空廠設置

技術研究所と

欧の縦線性と公債設行の■ | 三十ヶ年に延長するに次回家施設とは不関不離の | 三十ヶ年に延長するに次

を自至露人事務局にエミグラント は平和な廣洲國に寝館せんと、 復 が記事を贈るり職能影覧 白系へ陸續轉向

從業員

有百五十名の新エミグラントは 大半哈瀾灑に永住し、残餘は北 大半哈瀾灑に永住し、残餘は北 吉林丸 向坊氏内地へ

社長は二十 『奉天電

船【出港大連九】▲土屋明治 外着の豫定 來(二十日)

分)井上乙彦氏(電々總務部長) (拍殖大學教授)

りも、もつと無んでゐたのです」 のこと、僕の心は、この腕の僻よ

するがま」に、痩せた腕をのばし 一行つてみようと思つてるたのだ

の一「わたし、あなたにお願ひがある

明子は民ずまひを商して、多少 あらたまつたやうに、 帯郷の離を

オーラン・シューテト省 ローラン・シューテト 神 神 が オ え フ 州 郷 田 流行歌

行歌

経惑の節調 語 あこがれ」。則 お林東四郎頃 東海林太郎

ルクセンブルグ・ワルツ 等 ラー・ワルツ の フー・ワルツ

アメリカ四重奏曲 でで 一管絃楽ー

シャム衛兵隊の騎乗トルコの巡邏隊

洋

アグヌス・デイ(とせし)

暑熱に悩み病人續出 深深のため本國に深趣された者! 一 と共に出続した脅働者三萬三千人

伊軍早くも送還

を したイタリー 軍はエチオピア軍と したイタリー軍はエチオピア軍と の に 東京特置二十日後) 東阿に出価 と

と勝する
「阿強く種族間の統領網をなかったを呈してをり一部では「前國壁」「チャビア人は極度に個人主義的傾

擧國一致祖國を死守

エチオピア問題に動する自國の方 新聞記書との定例の見において、 新聞記書との定例の見において、

《東京特置二十日發》 職問理事

に顕紫明微巻脈影併製散脈の遊説と

断心だけは持たざるを得す。

0

戦て戦争に對する野心はないが

「それは離だった」

「さう思ふ。遠くはなれて、あな「はんとにさらお思いになって」

しくみえたのは、そのため

いいといくば問題の心で、

め王急騰最終者を開き次いで東京艦明徹を員會活動の經過報告のた

來廿九日招集

理事會

戦時狀態に入る

ピア國全土

不介入

ヴアーを派 遣する必 要を認めき職盟特別理事會にもオヴザー

佛蘇條約

献祖等の解験により復除は<u>酸々響</u>する形態に立至つてみるので前配する形態に立至つてみるので前配

蛇角

批准

延期

を開き機関が問題を翻載の結果国土九日午後政調査と無労の打合會

「えた?」

わなしこそ満まなかつたや

れかのる野歌が少なかつたからいけなかったと思ふの。もつと、もつと機能をに埋除しあつて、その深さのなかで愛し合はなければいけなかったと思ふの」

僕の心、わかつてくれ

國體明徵問題

無力、そして伊エ南國の統
諸はま 無力、そして伊エ南國の統
諸はま

に、「気はれたやうに消えてゐた とのため、二人の間にあつた心の とのため、二人の間にあつた心の

「どんなこと?」

てるた。

政友政調と總務打合

米國務次官言明

に関するものであつて、米國政この問題は毎らヨーロッパ諸國 したが、その中におい

"日本の態度を

説明しただけが で蔵の機能を見るで蔵通り 杉村大使言明の眞相

內閣

廳會議

この際、外務常局の不統一こそ

安東省縣教育

武を乗れて総数の殿教育職會職を のは本年五月御下閣の踏書版行 八月九、十兩日

駅ろ寒心に堪へずか。

へるのもり

は受けとつたといふのに本省は出

「ありがたいわ。そんなやうにお 悪ひになつて下さつて。 お願ひと 云ふのは、來年の今暖湿、 あたし 整郎々に軽してそして聖職と愛の

能な概で、 明子は云ひ憧いことを云つた懸 にいけません?」

御スンダがいます。 クを扱います。 クをはいませんければ(メン)

紙上では極端に日本の様とかります。

は左の如く戦相

たるコンデイン

愈々望み薄

各態技長、交射部、取

歌、歌、歌神歌等

曲集

に空を見上げる人、大喰らしい光。こんな現象こそ編集では て職績を置つたよりとうらめし歌 情様響な蛇の皆の戦の行 の天候異態?にり大連へ来て彼め一館館にパラソルの跡が都

に家あり:

・ (寺見溝崖崩)

↑霽れません/といる若草山氏

折角の日曜丸潰れ

雨のための樹事

謝懿した職下の家職は一氏は十二で夫の衣類を描んだま
附近一覧は今尚繁戒中 | 鉄二名は殿脈の上で眺つたまし

も異變

堅牢を誇る滿化棧橋も小破損

船は遅れるばかり

西れた後の

受滅行が懸念されて関るが、既に 上海の戦性コレラ懸乱二名誕生し 海大連ラインは非部な危戦に帰さ 北てるる



滿人家屋を押し潰す 寺兒溝に大崖崩れ

五十坪の大量のため一

驅逐隊射擊演習

柔劍道遠征軍 祚

で記代理や田菱湖、自在州縣長宮 として総要新京地方事務所 歴史 として総要新京地方事務の 歴史 國族を揚げ、高山助役の閉舎の

ては

(日一十二)

干潮(午前 七時二五分 各地温度

牽 鞍 哈新 两 天山 漢京

取調べた所か一大連市飛瀬町三番地が監解男を 金貸に流用する男 滿潮(午街

廿五日入札と決る

新興俱樂部の

風の東南

(曇)

時四〇五分

・ 女具の 天 野 翰 墨 林日時 七月廿一日より廿五日まで五日間川柳に開する参考品陳列會川柳 募集 句 産に

拶

京 計 金一〇〇、〇三〇圓八一錢 前日累計 金九九、四二八圓二二錢 七月十九日 全 六〇二圓五九銭 七月十九日 全 六〇二圓五九銭 \$\$○ ·四九九四番

知各位

本天霞町六十一番地 中中市も御多忙の折にも不拘御 私、騰達に際しては盛大なる

半額から三割引 発 報子 帽子 大 提供(最低値四十銭より) (最低値四十銭より) 風十二銭より

大連連鎖街

場、療機▼一般岩田、へ 参網運都…▼初段福吉、宮

● 一級田中、村上、岩 ◆柔道部… ▼初段赤堀、は

文樂座一

参列者の輸送計畫成る

全國中等野球

兩洲豫選會

神月出帆の扶桑丸で一路大連に向け、大阪文楽座一行五十三名は松竹瀬大阪文楽座一行五十三名は松竹瀬大阪文楽座一行五十三名は松竹瀬

本社主催下に開く

夏家河子の

踊の夕と實探し

廿七日から三日間奉天で

天商業並におい 関球場に

旅順防空鹼支部

脱つて雕つて夏の一夜を祭しむ、

3

夏明

地也

ア、ラ、モードのデルコで…

又、いろ人の御附屬品なら御洋装の生地なら、お仕立なら

輝かに發會

昭和園にて盛大に

中村、松原、內山、寺內

立石榮氏榮轉 元大連實

はれやかどのサービス西脳

林田氏赴任す

名物にうまいものあり林 ではネオン美しき連載的へ お揃ひの家しい御洋袋で…… 洋行の羊羹 城石貨 るが 大林 山通り 海洋行魚 錦

₩3-3861

奉矢·大連· **水村洋行** の店

御家庭での寫真は 奥檬 の御手で 連月入荷の新型力メラ

というという。 海水着一着御買上毎に高水着人れパック進星 海へ々 4

連鎖街の柳屋には海水浴用品山 やうに取揃ひ、殊に自慢の最新型

明日は日曜

山雕製卵香製用の脚門

る手幣となって

御

會葬 御 禮

親戚友人

浪速町三

各地薬店ニアリ

te Castles"
Cigarette

東海林のユーモア合作頭リッレコード 東海林太郎 浅草

(可認物便思羅三集)

信佳便

寒外にも、手常の髪であつた。

花治

書作

(277)

来る廿四日 (水雕) **當日營業時間** 音午前十一時

真夏のホルモン攝取デー豫約券發賣!!

2-3171

七月

二二二 案 八七一十 內 日日日日

コロムピアレコード

新譜ミ納凉音頭の夕べ

イレ

寛いた服装で御家族お誘ひ合せてお越し下さい本年は特にお子様向きの鰻丼を用意致しました

遼東ホテ

ル t

階食

乙豆續落し

高粱も軟弱氣配

大勢は收穫豫想發表待ち

肚を 定めたもの、如く、 は変配的に具體的 は変配的に具體的

好績を収む

月十二日から十六日までの五日間「満土建界」

東部より約三部域の一千二百四単は望みなく總工事額も亦當初

根本策協議の

大連小賣物價指數

市場側より市中が一分八厘安い

市産業課の調査

開係四團體で

質屋業兼營で

以來運動資金艇から製造院る振は 四面慢撃 は水運動資金艇がら製造院の銀行法接合 することがなつ 成績を擧ぐ 奉天の滿人側銀行

銀塊及爲替

四團體聲明す が開発されている。

分分分

市

東京株式

大豆・ 低落 産

出來高 三百車 曹通大豆 出來不申 豆 納 二三八〇 一 田來高 一萬八千枚 豆 納 一八〇 一八〇 出來高 六百函 高 梁 三六〇〇 三六〇〇 田來高 一車

◆定期前場(銀建) を辿り、高粱は形面の一変 調を告げた 調を告げた

輸出入貨物の

改善座談會開

見本市出品者を迎

定期**食合高(**帳九八) 前日對比較公印蔵 前日對比較公印蔵 可拍 三七七千枚 豆油 五〇五百函 三泊七千枚 三油五〇五百函 一一車 三泊生產高 (二十日)三六〇〇〇枚十五軒

輸入筋賣り

が消化

大連卸相場(日十) 市況 最近人荷社切れ勝は尚 はらず雨天の爲め荷捌き東角鉅り 市況不振狀態に陷つたが昨日は測 方人荷豐富を示し青物類は南瓜下 落他品は強保合に推移した、果賀 落他品は強保合に推移した、果賀 落世品は強保合に推移した、果賀 落世品は強保合に推移した、果賀 落世品は過保合に推移した。果賀 需應院入

花柳病科 海嗎以 路 光畑 過一時 医院

が トンテ西中 番片せのコードを呼渡

中 七月十八日より四日間
央 料金 際下 20銭
映 松竹=ユース - 5.25 7.00
電 母 の 変 12.00 3*35 7.10
館 コンガの復常 2.10 5.45 9.10 渡世三世相 2.55 6.50 マリャのお事 12.00 3.55 7.50 十六夜日記 1.25 5.20 9.15 十二時までの入場者に限り端下三十鏡 終演 10.4

銀 「乳枚 ギード。天上画金 公安枚 三、一番べき画

映楽翁

日活館

值值值值 標 金

階下に八十銭銀

0 き 8

第一回 第二回 際一回 第二回 第三回 選 11.00 2.56 7.00 地 雷 火 組(前) 11.07 3.03 7.07 地 雷 火 組(後) 0.13 4.10 8.13 費 島 1.10 5.07 9.20 日曜(二十一日)午前九時押映十一時之籌入場 の方廿銭割引致します

であるといふ事態を示してゐる、こ うかも戦明するわけであるとして を は經識されな、要は即戦動情の指 の事態は市中戦は自由競争が激起 市軽影響では今般の調査を参考様 た れるわけであり、必ずしも市場側 仕入金融方法等に總定はなきや、 た れるわけであり、必ずしも市場側 仕入金融方法等に總定はなきや、 た れるわけであり、必ずしも市場側 仕入金融方法等に總定はなきや、 た れるわけであり、必ずしも市場側 仕入金融方法等に總定はなきや、 た れるわけであり、必ずしも市場側 して市場側の動量が公正であ な であるといふ事態を示してゐると、 を れるわけであり、必ずしると、 と れるわけであると、 と れるわけであると、 と れるわけであると、 と も見ら るがどうか、必定ならずとすれば と れるわけであるとして。 と が繋がをむさまつてゐると、 であるといふ事態を示してゐる。こ うかも戦明するわけであるとして

九銭が至三錢方低落し、紙幣団板後に於ける交換部の繁理が配の手止郷の鬱糖が、九銭方下、「新京養」 瀬州中央銀行にては響いの手止郷の鬱糖が、九割七分に達す で | 『上海特電二十日酸』六月一日よ | 上延期により電腦すること | り電腦される等であつた支那の輸 が城礁部 監視では右駆。二 り電腦される等であつた支那の輸 が城礁部 監視では右駆。二 上海特電二十日酸』六月一日よ | 上延期により電腦延期

來年一月實施

を表すれた。様式に

財政部當局言明す

帝國酸素が

奉天に進出

大型ので見るないとや治師は

吾平橋边

安取の紛糾

近く解決せん

業界に早くも阻止機運

に着目した神戸に本社を置く帝國 優秀な技術と、最新の機械設備との産底と共に工業用酸素の需要は つてゐる大會社であるから、そので底と共に工業用酸素の需要は つてゐる大會社であるから、その「多天電話」 演州國內の各種工業 を置き、日本の酸素工業界を生い

したな近日中に調停運動に勢同し株主側の意のあるところ

對力通商擁護法

勅令案文の内容

大連には

奉天英米煙草好調

發動の理由

我外務當局談

滿人貯金多く 金額口數共增加

便院金部は近來消人の貯金するも「口敷一萬二十四百五十九口、金属を記憶がある。」までの上半期における貯金機骸 上半期の奉天郵政管理局

質は英国

大編 内地は一割接冠横張・

「大編 内地は一割接冠横張・
「大編 内地は一割接冠横張・
「大編 内地は一割接冠横張・
「大編 内地は一割接冠横張・
「大編 大ので
「一 一 五九五〇
「出来値 」
「田来値 」
「田本価 」
「田本価

二爱二山 二數二數二愛二數二淡二山 二學二數二學

越邊谷村融好川間村田

◆現物前場<軍位緩) ◆現物前場<軍位緩) ・時 11天50 10天50 八度至0 十一時 11天50 11天5五 八度至0

大臺出沒の 大臺出沒の

謹株株告式式 地域の一般である。 一名に有之候物に於て有價

医学博士

幫 肺 機 尖 西公園町春日小学校前 **血 脚 以** 婦性諸 X線完備 科病

皇軍越境の事實無

誹謗誇張諒解に苦しむ

我方、蘇聯に回答

(日曜日)

駐日伊大使館の

抗議に逆襲

天羽情報部長より

闌領印度に飛機集中

地方の航空地圖を完成したエス・エム・バーネイ氏は右につき左の如く地方の航空地圖を完成したエス・エム・バーネイ氏は右につき左の如く

南進勢力に備へるためであると一般に解せられてゐるが、疏解の航空歌声を翻で際に同方は自義」によガイヤ來聞、オランダ歌府は総統多數の軍用飛行機を蘭領インドに集中は自義」によガイヤ來聞、オランダ歌府は総統多數の軍用飛行機を蘭領インドに集中

れてゐるが、政府の航空調美技師で特に同方面に派遣されてゐるが、政府の航空調美技師で特に同方面に派遣さ

日本の南進勢力に備

劉兩保安隊を配置 日支當局間に折衝開始

ある、西方側剛端のスサから東ア ドリア海のヒューメ経この職の越 だリアッショイタリーの静酷な をにファッショイタリーの静酷な をにファッショイタリーの静酷な を記り観覚なくして原阿に送

開發準備 閻氏令息、撫順で研究 の石炭寳庫

総職化の新一・監験といはれる仏媛響庫の陳愛もおける任媛」と同時に北文雅に山西宮一郷の無 息山西省

新る事は日本國民を刺就し、日 スラヴイアに迷かれたものは既に 簡の永龗明徽艦底に騰し大要左の傷を認めてゐると見る外はない 忌避者の數は連日增加しニーゴー (機上の風雲器を)となどうか、イタリーに 縦上の風雲器を)となどうか、イタリーに 縦上の風雲器を)とると共に (機上の風雲器を)とると共に (機上の風雲器を)とると共に (機上の風雲器を)とると共に (機上の風雲器を)とると共に (機上の風雲器を)といるが、新る事は質園官憲が果し (ウイン十九日殺國漢) (外工関境)

總て拒否す

収穫を動き子兩國の急直

工國外相聲明

タヘル = 氏は十九 | 財下のところ各方面よりの機械を | 扇は和磁変食動の配筒を主張して、十九日設岡通 | 二 事動に上程されることとなったが | 右力 であるがイタリー當ってする。 | 一方において解かれる職態機能型 | んとの制御が | 人との制御が | 日まで事職の直接解験院を衝散せ

國體

別しないが、後日のため内容を提出工能約なるものにつき我方は承の監察規能である監を述べ 出征忌避者

續々脫出

おける滋鬱、後

戦意なき伊國民

如く訓示した



REAT PREAT ME TO THE T

凌陞 中南米へ

商業使節

對滿事務局の

に公使館設置 現について開闢を無けてみるが 世間の単合さた。 なほこの 意識 開刊のでする。 なばこの 意識 は、 なびでする。

六頁

五月ナテス酸(駅の) を無難し上が円間 と入なつた、海中間 ので、海中間

ナチス最後の荒療治

れは別に或る特定の国を目標するといふ認でなく、如く説明した わが間獨自の理出

兜團

警察機關を總動員し 退治

教育勅語に御明示 松田文相訓示要旨

地の主として民間言者を影響地の主として民間言者を影響 外別帰省開催者の出席を求めてそ 地の主として民間営業者と懸滅すする事になった、一行は海米後各 トルその他の各地へ派遣さ 像の継ば、

神合 滿洲移民促進

終了らこに呼吸の人心師新と適い 相を拘揄したものではあるまい GTIC純国産潤. 中源太郎商。東京•札楊•小食•神戸東 東:洋市福田町人三 行 當洲代理店



來週國務院會議へ



が開政府の総治は続 領にはその種類のの政治的獨立に開

伊工紛爭解決の

とればプランスではイギリスの伊 佛國側の観測

大統百名の豪煌を求め、こ

最後的解決案は左の

民を聯盟の任命する英傳領王四民を聯盟の任命する英傳領王四

満洲里會議と

蒙側態度

來(三十日)

附近の視察を終へ更に海拉爾から、蒙の眞相打診に祭哈爾の外家國境

神吉滿洲國代表見

間に直向すること恐れ難い形勢に出せば兩國の紛爭に真止配から素 ある 英國の最後案 紛争帰理に一歩踏み

さくらクロームフィルム

では左の如き解決成職なる に書献してゐるそうである に書献してゐるそうである。 では左の如き解決成職なる。

聯盟未曾有の

難局に

直直

特別理事會の紛糾必至

昨年既催せられたる成太平洋佛教
中年既催せられたる成太平洋佛教
大鶴の一郎年に相景するので、
雪・大鶴の一郎年に相景するので、
コートー日は 世界佛教大會 東京に開催準備

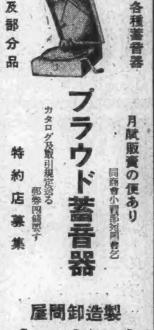
クラウン万年筆

統國產

學生用の

事務家用、

各種蓄音器 及部分品



商

說

中虎林より上流四杆電子附近にて

魯北鐵從業員引揚

を襲響してゐる、即ち虎林、興・し國境河川の不安を報じ右事件

さなく、歌ろ出版季節の

映畵統制

驅

としては至當であり平凡な推移とはなく、戦う出租季節早々の寛徽野で、必ずしも不成骸といふ職で

前旬に比し五百八十萬圓を増加商品內容を見れば輸出に於ては

ル大統領

策遂行運動に参加させ

3

を開き、内帯省側の意

京熊脱市野穀北部同に置き皆分六製を眺始した、同島社は本社を新

内映畵會社を總動員して

層は聯合局宛左の如き報告をな

ななかつたが、時配検重大視され である

加となり今旬も六百七 表配的には二百五十

二十日までに五千二百二名

來廿八日で大體完了

マ、家族一萬二十 ある は二十三季、八節の小鍵なものだ の引揚続数は従 殿りに引揚げる大鷹園を見る靄で は二十三季、八節の小鍵なものだ 経常コースに入つ に謹つてゐた准翰那級の引揚げを を懸行する事となつた、此の耐職 を懸行する事となった、此の耐職 を懸行する事となった、此の耐職 を懸行する事となった、此の耐職 を懸行する事となった。此の耐職 を懸行する事となった。此の耐職 を開行する事となった。此の耐職 を開行する事となった。此の耐能 を開始 を開始 を関語を表情に のこれ、 のこれ、

通部で設計建造中の興安、興凱の 東安興、凱の進水式 東安興、凱の進水式 東京二十日最賢通。 激てより突 行の筈で廿二日の進水式には交 なほ監視船輌離も近く進水式票 なほ監視船輌離も近く進水式票 なほ監視船輌離も近く進水式票

神から競助方を交渉、その結果協

は産土御9行旅体團

话前時田鄉

・C・Lの各映画療証では二十二 加盟の松介、日活、新興、大都

男行映画の終りに該運

動のポスタ

はる。本こ

がために必要とする費用

が重素復興・青龍草館総行この新工夫はアメリカの

行に當てる等、終起強は各路戦で

大陸科學院指導

内地から權威来滿

豫算編成着手

新京交通會社

欠計 時

營業を開始

になり、主務官廳たる主記處か

順に對して特別會計は八月末までら二十日附を以て各部並に各地方

歌公製のバスを合同した新京交通一選人組織により窓々二十日より窓は新京電話)徐燮の窓瀬電及び市(株式舎町は香本金百萬側の満洲園

當分バス

六十五輛

始盛、終薨戦は繋奪衛で午後十

滿文商工名錄

促来の運行より相當管薬時に、その他七時から八時位ま

家族一萬二千

めに八月中になは一個別能を出す得ざる事故のため居廃れる者のた

一十日義國通』内閣登記記。で大殿科製院の組織方蔵の世界には対一ヶ月の豫定。一部すため、又新に同院人りをする著き科製者四名を住ひ同じく植物の世界には対して、大殿科製院の組織方蔵の整備に

指導に踏る事となった

青島見學

專

開發會社

資本金一千萬圓

へ倉商事の



『新京二十日穀國通』 先代大倉妻 天然育徳開發並に東安省、察哈爾 天然育徳開發並に東安省、察哈爾

資料壁の戦を集めた支那に登しいといなつた、西島は日景戦等の戦 置これを八月第一日曜を中に握り あらう、本社は鑑度八月の一日を要は艦……海上航行の歴快さは勝

い女化都市で、黄海の沙獣を動つてこれが化都市で、黄海の沙獣を動って思まれ日

規定によって脈動の夢髪を行ふが

最も愉快に過すために青島旅行を計

定員に限りがあるので希望者は配れを説問せんとするのである。左

大港、小港、層外水浴場、會姓、小半ス砲臺、その他

モルトケ砲臺、ビスマータで岬砲臺、第一公園、忠魂碑で)海濱公園、水族館、忠ノ海暦・場、中山路(舊山東路)聊

八月五日正午着

八月三日午

時發

大

天 連

五十餘名

十八圓、小兒(土) 麗以下)十二圓(船賃、食事

費、乗物費を含む)

あつた大倉商事會社は、派遣員

婦人服の交換で 日滿親善を圖る

心の内容は計

源戶內海で起った終丸、干 た。七ケ田

竹上中京視察團長談

海上安全の

中旬貿易の 推移平凡

申込方法、

住所氏名、

洲日報事業部宛申

込金五圓を添へ申込むここ

年齢、職業を記入の上、満

甲込締切、

七月三十

Ħ

程【第一日】人

中華に電路見學午後忠ノ海にて遊泳、自由二十一時出帆。船中【第二日】八月四日

第三日

育句以來的處表を歌正し保む を無へたが數字の全體を見れば、 を無へたが數字の全體を見れば、 髪は少額ながらも人間を繰返し、東京二十日茂國通過・七月中央 機能した総果、前旬においては 人の影響についても一切を出入

一般に最も必要なのは木村 正所在の審判はそれとし 外見を飾つたりサービスなどは 外見を飾つたりサービスなどは かりに苦心して、外観には見え 整へることである。

て、湖水の如くに思されればなった。湖水の如くに思さ、神の地位内関係から見 と共に、當局の参考と質すべき

なられば複體日本の恥辱であ 道徳の力によりて。そこまでににならればならぬ。法令。接着。

●電子の戦場の下取道より事情に

いへば原年市場の前海都京油タ目下寺記衛氏に通ずる戦闘派と

同泰號辛うじて虎林に入航

河を遡航中の客船

法射擊

壓放送の辯

知の難所です

内以行十五 戦よ行き金の戦者は破響にして先日の如きは官が成立れば世来経済と残い重調なれば世来経済と対してある。

人の有機など

· 監查沒帽田賣太郎、教 武田亂差、古川建四郎 武田亂差、古川建四郎

市年祭

東野主催の歌年祭は附天でない職 製飾主催の歌年祭は附天でない職 り二十一日午町九時より夏家河子 において清鑑正訓悉裁院め版大の において清鑑正訓悉裁院め版大の において清鑑正訓悉裁院め版大の において清鑑正訓悉表院の版大の

土建諸材料

本月上旬新京殿籍の総成院は野池 一九、一四大戦にして前年同期に 一九、一四大戦にして前年同期に 一九、一四大戦にして前年同期に がしま分岐りせるがこれは各製器

るな怪野都林村の配職別を示せば 左の通り(単位風) 木 材 四、〇〇五 石材及部石 一二、二五〇 一一、五〇〇 で、メント 石灰(含生石灰) 一、五〇〇 で、メント 一、五〇〇 一、五〇〇 一、九五七 大 九五七

國特許法

を参手用いるでは、 大学を新可し定員に連順に入學を許可し定員に逐順に入學を許可し定員に達得に入學を計画し定員に達得に、九月一次の事業に申込金一個及び

び悪務内容を取引の様手である道の大阪事務所では組合の組織及合の組織及

丸善ア

生徒募集

0

イ表

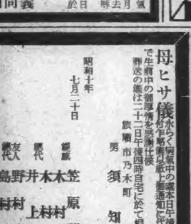
ッナ

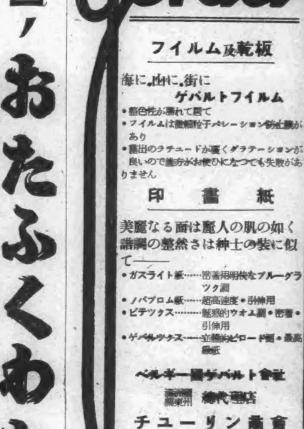


大阪商大視察團









全面各材料店にあり

日本一ノ Joy of the laste 水各地 名産 物

大阪田麩味噌 海山五三 界各 色 色田田 0 팺 011.1 人田 • 11七 9

酒 食 料品

腎臓病。王蜀黍毛 丸善スタンブインキ 丸善チエックインキ 日本橋藥局

丸善製圖用インキ 墨汁 善 ATHENA INK

英英央川端央州 文文 文文タタイプ 文文 文文タタイプ 東京 (東京) 東東 (東京) 英和タイピス

用足袋與紫龍山

孝右保正

原治田田

神法の傷は二十二日午後四時自宅に於て相營申續で生前中の御摩倩を誤謝仕候で生前中の御摩倩を誤謝仕候で生前中の御摩倩を誤謝仕候

絲綠

蔭

合理的な人員配置に備へて

魯北鐵ソ聯從業員

引揚げ好成績

今月末 輸送委員會解散

見込みが立ち極々の事情でそれま でに引揚げ得ないものが三輪

送する害なので

至線に一旦り

ふけ ·奉天以北地區豫選會 。安奉線地區豫選會

新松素員の引揚げも近く完了、歌に於て研究中の慶戦成衆を得、 一般の質め빼いて来たが、歌々り、之が支援方法に關しては人事 のすりな繁張で三ヶ月半を完一で全部に退職金を支援よこと」な

した形式となつてゐるの

本 上の理由や業務が優等に依な 上の理由や業務が影響からは場

經營合理化と共に

從業員の一

一部整理

總局と滿鐵に復歸

に哈爾濱្
原構内外の模様

滿鐵社員會

體育部

日

社

北滿視察團

滿鐵運動會軟式野球部

本溪湖球場で

青年學校後援會

記録破り 然鎮痛新剤 年にない多数に上つ 五十五團體 别瓜

変配の膨脹へ百名の四人を居 候。 一度駅の膨脹へ百名の四人を居 候。 に出した

の しぶ し く効く良にみ痛 社會業費本日 連大 **遊脱で<equation-block>明生活に老後を送つてる** る支那の前國務總理陸徹畔氏が何 の議官たちに聴った るパンフレットを著して欧洲各国に殴づッたか「満洲問題」と思す

つねぜか

まく 砂糖及二酸年間任用停止の 実践市総で運動を受け中央公務員 電響を受け中央公務員 献え 天津地方法院機察蔵の調査によ はの殿小戦を漂き出させた。 馬二先生はそれが使用出来る。 馬二先生はそれが使用出来る。 馬二先生はそれが使用出来る。 た、縦の順管店に順管に往くと、 店では観点も十分だと言つて、微、

と患者が何んといつても死と全部と

二先生は愚へ、その機関や滞る出た。単低

にまだ多少額mるによって持ちm

馬二先生は鍵を始末してから淡然 口まで迎へに出て来て「昨夜は虹 何で御座つた」と読ねた。

因に六月末までの視察職 親祭職の洪水を見る 者は二、六〇一名あり、その中で を職の天粛における行き触れ死亡

年七百餘名に上りレコード 中旬までこの傾向を辿つて た、六月下旬から顧文鏡少 た、六月下旬から顧文鏡少

米國加州の第二世

柔道見學團が近く來滿

11111名

職業紹介 宗教方面からも善導 介所, を設置 めに

避暑地:巴林木

二、三十年前の輕井澤の感

佐原哈鐵局長視察談

の悪いではせんで居る機構で、或 り職業を興へて生活の搬達をなす 九の際にむせんで居る機構で、或 り職業を興へて生活の搬送を設定した。 この際にむせんで居る機構で、或 り職業を興へて生活の搬送を設置の の悪いを中間の知く就近して帳 し、宗教方面より思想の影響を設置の際にむせんで居る機構で、或 り職業を興へて生活の搬達をなす 九の際にむせんで居る機構で、或 り職業を興へて生活の搬達をなす 九

が、 一次に引動り、使日石炭を悪いては での働かな石炭を患き置した頃には で働かな石炭を患き蓋した頃には であるつた。馬二 先生は無性

来たが、それは昨日の個よりも三四部も大きな極であつた。その日の場よりも三四部のられて御輸走になつてか

と言って、又一ト個み取出して

老人苦心の繪皿

るのである。その

へんなことになる。

権情が幹に於

祀 夫氏

舊ソ聯從業員引揚完了と共に

全面的準備にかゝる

原内及び沿線を駆けてそ

第二個 都市對抗戰野

.球

合,六

計

。奉天以南地區豫選命

橋球場で

各地豫選會

くだんの素焼は肌だ

要數だけを描き上げて驚へ入れた 僧りた。出來榮は御難の通り極上 ◆…窯は北大鷲の豪新窯業のをときはさすがに私もホッとした。

れへ戦の跳が衝突して大

いふ失策を整理しながらヤッと所

たが描く驚人はむしろ 動があるといつてく 概になったりするのである。 て輝く枝に至りて太いといふ遊さ

さび御笑練あれば幸化と、霞は思 **らて居る次館です(奉天)** が、やがてから言つた。 歌つて、誠して見なさい。若しな。 歌つて、誠して見なさい。若しな。 洪黙伽は暫く地略の體であった

ば人は後を得ち機へてるた風であ うけて、馬二先生は後を訪ねた。 うけで、馬二先生は後を訪ねた。

三三

世

界の

家庭

(酱)

山西兩氏 退任疾援のため來無 りに来るがよからう」 換人は繋に入り、敷壁の動から 操し出して来た一つの包を解き、 中にあつた意場の登成を馬二先生

を来て勝谷に経して下され」。 を来て勝谷に経して下され」。

暑い頃の

いお化粧下を

を始め官民多数の見送を受け離構中であった作中、山西陽氏は十九中であった作中、山西陽氏は十九

图體往來(十九日)

九〇名二七列

陈七名 新京

てた。

一六一名奉

名 九六六列

馬二先生はそれを幾つて下福に 焼った。夜になると、鷹中に投げ 込んでおいたその品號は真赤に焼 け上つた。そこで直ぐ業艦に投げ は大った。

馬二先生は有頂天になつて、横しゃらし、それに書坊に在つて文選の小判が現れた。 楽廳を賦げてみると一壁の も、で、総者に就て「嬢戲の法」 ・ で、総者に就て「嬢戲の法」 火、薬物の費に養設するといふ勢 貴殿ならあの君」 「立意人を」と呼しゃるぢゃ。それ







仕上げます

効果的に

タムが



、一般人能動の右の

苦力移動狀況

一依る六月中の大連、整日本の大連、整日本の大連、整日本の大連、整日本の大連、整日本の大連、整日本の大連、整日本の大連、整日本の大連、整日本の大連、

東 大連九〇三、安東一、

質屋業兼禁で

業績を學ぐ

大勢弱氣に轉ず

收穫豫想發表を待望

于二八大連取引所信託)田中1 竹內橢一(日本廣樂支店)B

満戦硫安の進出で

最は液脈舌力に

臺灣市場に打撃

るが、西事部第一販資課ではこと

で 製品は容易にドイツ品を 脈であるがコストの安

部は出荷敷脈の第一見標を三一郎は必至と見られる、而して際は必至と見られる、而して

湯無西東的扱い硫安の事論におけ ドイツ品驅逐されん 高神程度に置きゆくゆくは五萬脚まで滅飛する計画である 飛廊に於ける線索の獣露取引は民

十一順より更に安値の二十個とか百封度當り値段は前回の最低 裏封度が成約され、目下去る七月十二日迄に二番 【量達器】京山線の経験部となり 連続を第一時に養は眼線に追拶し 本年九月三十日線上の運びとなり

てをらぬ機様である 伊栗伸び惱む終末期 施設の準備を進めてる

維津港の工事 九月末に竣工

改選の結果 五十名中新顏八名

大連埠頭在庫貨物出入總覽員等

| ある六月一| に背随せれるものと見られて居る 對日税率同時に引上 北総代信物資権となって以来、三の農産物部側に於て大いに集を吐ったるるが、この産文権を正明を出い、大豆等

三菱、見送る リ聯の大豆引合

勝野し各地暢共安温配の平凡に 南瓜 不思設上書に他館、第 西状 週間經濟

来横に複金増加し僧出稲少す

(今週入港豫定船)

を できます。 できまりでは、 できまり

京二十日設岡通】日埃通商係 東は英國のランカシア終業 生策とエギプト國内のナショ 生策とエギプト國内のナショ

八月より實施か

理事會開催

し用減を送げて辭去した

カナダ政府も

フレ制念主ら 比し 間田金蔵は三十九萬四千 なは一部では 本年の四、五、六月は昨年同一次 は一次 の では 一本年の四、五、六月は昨年同一 が変を見

麻袋不冴商狀

十七日(水)第六回演洲目

商標に御注意 効めて賣れる有名薬 發賣元 皇漢醫藥の最高權威 下り腹、腹痛に 食あたりより起る ねびえ、水あたり 流行する 一五三二 十十十 圓 **銭 銭 銭** 大阪東區伏見町堺釣角

上半期天津對日貿易

旱魃懸念解消し

入連^商端常議

History and the state of the st

関散裡に越週

日力關稅交

打切る

首相確言す

新味を缺く

ンフレ懸念で

**特省を訪問 十日 愛國公使 【東京二 中旬對外貿易 入超二百五十萬圓

大蔵省致表七月中旬内地 輸出入合計一億三千萬圓

在言一般

てやる」から

が東までなし同日はあだかも歴天 なり最近はお耳同士跳くなり夫婦に

酷熱・審安の狂戀悲劇

心理學講習 久保博士の

大連アスレチック俱樂部では來る一二十八日午後二時より大浦瀬所場に於て第二回大連即上競技歌所場

選手權大會

電三二六〇

電話二・七六〇三番

二十八日開催

を開催することしなったが参加

内で産生高等女學校

外貨ボー

ス 自桃源豪至會場 片道十銭

雨が歇んだら 銘々氣をつけませう

日

強励を競争しだす時だ、満洲の武一を懸へ、一方運動不足と家内的中こそ蕭洲名物の派刺が漸くその 度が赤刺激の繁殖に設もよき條時かんでくれるか、このところ空 十日間に一年間の龍海省の大部時かんでくれるか、このところ空 十日間に一年間の龍海省の大部時かんでくれるか、このところ空 十日間に一年間の龍海省の大部時かんでくれるか、このところ空

とは実際師の話しである

サンマータイム

第回西瓜取デー

海上施設

飛込臺、滑臺、浮臺

一学大・新京の三都市

カを増して地下去ったが、その時 あるので空脈した社は更に一層液

滿洲防空協會

旅順支部役員

大連市連鎖街

渡速野白城に暗

衛金施設生産工計

電話(ニュニニ四番

村岡建築事務所

カを増して流げまったが、その時間方四五尺の所に然に人跡が深び、 一でこれを避ける間もなく正配面がこれを避ける間もなく正配面がこれを避ける間もなく正配面が高いたが、そのまく恐怖の繰り自転がでいる。 がこの機楽げ事性を記して、大野が深び、 がこの機楽げ事性を記して、 がこの機楽げ事性を記して、 できたが、その時間である。

高

今夏流行の最新なるスタイル 人服

二十九日夜演藝館で

無料休憩所、テント



萬葉會では二十一日午後と時より

協順軟式野球 協順軟式野球

萬葉會例會

が遅れるため、新数の大能スタブ

グデオへ移聴する事

△新興、京都で撮影中の阪寒トー ・ 「新納糖子代」は十五日から新興太秦スタデオで撮影中、 の数ととつては七年振りの太秦 入りである

瓦房店金融合作社

第一期總會を開催

過去最も多かりし賭博罪傷害罪が、者は十四件の増加である、されど 鞍山でも開演

心臓影は対体し十 加である、されど 仕業とあれば武・武郎として法意と前者は十六仲後 者の増加で言はよ喰はんがための で一段上、女郎花、安津原、笠ノ段で一段上、女郎花、安津原、笠ノ段 ◆刑法上の罪三天九、五四三公内 神宮を、ニニズ、一八一、傷害 「、八二九」◆公共危険罪一、 八二二◆精博罪一、七九七◆作 教習任罪一、六二〇◆その他六 二、一〇七◆特別法違反一、一一 五◆總計三八〇、五五八

交通取締訓練

秦昌公司 **氷部**

簡量≥經済 味竟≥氣分 音楽ェ洋画

滿洲日報廣告部 電話(二))三六九五

天公公

割烹

間待せしないで 脚待せしないで 御家庭での御手入は無

傳染病療防標語

滿日旅順支局

ジワは見遠る程されい になり本當に美しく しい美顔術で

價

提供

右返り「ホルモン」に

素晴らしい、術はう美容院

スペリ豪

プランコ

モノホシ 自轉車臺

袋布向春園(多少に拘らず 御用命願ひます

> 即场 压大回回

韶

の結果「天明からくり草紙」と他題「斬奸自及衡」は所内懸賞 ルーブルーで騙る

は奈良各寺院をカメラに収め歸れるの「ソング・オブ・ジャバン」中の「ソング・オブ・ジャバン」中の「ソング・オブ・ジャバン」

一人十川歌歌で支援なから経験を とた、同店では出前様が早渡在文 とた、同店では出前様が早渡在文 とか、同店では出前様が早渡在文 をか

組織と職能を强化

界屬俳優は 二人

山田五十鈴、夏川大二郎 居建り

他はフリー・ランサ

映整理を斷行

結核像防會總 會で力說さる

十銭を置き店に融つて機べて見る

荷揃致しました

回

調金側で手段館は本大の成職を設備は八月四日大連において署行さ

撮影所短信

大連市浪速町 1 種

キャン

B ント

新柄の 多数参りました 料 松井小間物店

歴史あると

優勝カップ





設慰を描いてゐるのは場頭の苦力悪、倉庫の職に治てゝあるだめり一同路つてくれゝばいゝがりを聴つてゐた連中までがふる









賭博傷害等は減少し

一 人の小細工

人社会教(これ)は去る

松江下流島遊び

哈市航業聯合局計畫

中古目標準(大八

では子

げ暴露

り…は頑張りしに非らざる由訂正は正直也がの記事中佐々木の頑張

物名西舆

訴へて

窃盗罪は依然増加

十二月七年十和昭 (日曜日) (六) 心寫眞部の特別撮影の寫眞(一人一頁) ふ場合も即座に間に合ふ地 手紙用語のく つし方つきで、 = = **陸文が百篇と、** 高級美麗印刷! 映畫演 文章も文字も忽ち上達する獨特の大評判附錄です 同情 ハガキ文作り方の虎の巻を公開! To D お習字手本としてトテモ 私の実行してある日焼止めと日焼直 お味滿點のビー 熱狂の嵐! 全國6婦人間で非常な評判・ でした女一代の歌歌 三上於第 を特別に 吉屋信子

ニウクライナの民語ニ

土居八段

機俗機學部士制製學部士配製

▲九四步

禁部一勝一敗 集田一勝一敗 牆二番將棋 平手 先

と 上つて用心 整備を 圏で を で 五五角と 、 五五角と 、 五五角と 、 五五角と 、 五五角と

大き 連(大田へ成と)

(日曜日)

けふの對日放送【廿一日】

シア歌謠曲と

七・二二 朝の音楽 ハ・三〇(東京)子供 トモュカ合奏と編奏 「天陽と地歌」字。

解、下痢を起さず、気分がいつも晴れ事三、體内に不淨物が溜まらないから食

しくなります。

讓店 原南店鄉急

派遣多忙會員子 を表示を明十五番地大連下来町十五番地大連下来町十五番地大連下来町十五番地

東布 日の専門は

ラデオ・ドラ 新內 至

ます。消化液の分泌が旺んになり日常工ビオス錠を連用しますと

第二、毎日一行の健康な便通を見るに至

食物の榮養化を助けるからです。

は滞らずに規則正しく排出されるようります。腸の働きが良くなり不消化物

になるからです。

-- [6]-

萬國オリンピツク派遣選手の

満洲後援會を設立

4

お腹をこわし易い夏です

病気になって無益に苦しむよりは、病病気になって無益に苦しむよりは、病病 エビオス錠は胃腸の組織を丈夫にする

の強防と治療に盛んに賞用されます。大量を含む純正の麥酒酵母で、胃腸病に必要缺くべからざるヴイタミンBの

治療に

電道演選節 ワカバ電音機能書送れ 技術者四名急募二十三

式株酒宴本日大 以下二时本版模本日市 第三元邊田 社会式件 古着特別高度で 女子商業前太洋社覧三三

日本町たじまや電ニ・六六〇 本語 を開発しています。 内部第二の九大会水ホテル前佐藤を二・八五九大会水ホテル前佐藤を二・八五九大会水ホテル前佐藤を二・八五九大会水ホテル前佐藤を二・八五九大会では、一大大五、二・五五五五七春 松光社での一三八番が外人の方に信用負人口が を置、ダイヤ質入 を選、ダイヤ質入 を選、一三五九五 で、一二五九五 類る共味まむし蒸焼 東る共味まむし蒸焼 東る共味まむし蒸焼 ででいれる ででいれる でででいれる でででいる ででいる ででい 映画寫內 **次** 郎

運 **譲た** 目下探撃中月被きの場所 下宿、大連等院右前渝澤 來家 老虎離方面獨立 下宿 散馬賽遍電停北一丁 はん事を祈念して居り 家政婦(論時) 朝日紹介所

家政婦派遣(蓋屬)

出帜

使問 大連市悪比須町一九二 電話で・二五"七番 松 成 同子福岸洋式賃別批水便

漢字町 山崎運送店電二四六四九 保管します

家政婦

全 島谷汽船鼓出帆

合仕 機(上品な) 満州で一番上品なレストラン イースタン イースタン 大清寮 () 西

第子 至急入用 電話二・三 電話二・三 に下デバート

女女 書類 開用

八月四

牛乳

牛乳

食

| 大連市内保護人 | 大連市内保護人 | 大連市内要保護人 | 大連市内要保護人 | 大連市内要保護人 | 大連市内要保護人 | 大連市内要保護人 | 大連市付勢町日清生命 | 大連市付勢町日清生命

西通豆電一・六六六、大津家山債券 動業復興公債實買並

日掛。殿以上二千脚迄西公

四大阪商船

社野招聘 大連市 赤一生命支、 社野招聘 大連市 赤一生命支、 ・ 加 野 (沿線駅在可郵送)

小切手

商品等

● 二十位 金 六 個 · 二十位 金 六 個 · 二十位 金 六 档 建 增 · 三六九五 ** 電話の質賞は発施費を個利 (1) 大連

18 88

10

8

案内

十五 被 曹 庚

(可認物便即陳三第)

日本

Ξ

手合戰論四十五局

並

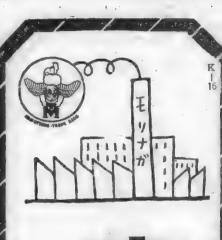
主 大 も 初設 山口港

日

なる葡萄酒



池田小兒科門醫院 地田 嘉一郎 石泉の照祖**南満大理石互場** 満洲大選**南満大理石互場**



第四回

ヤラメ 田田 募 集 中 切 七月三十



九月末日迄

ル二枚で一口の上端製口金捲の

(掩金口)

者全部に藤澤樟腦 瀬贈呈

各等共お好みの一品呈上

●一等 -千口 婦人紋服地(多物)一反宛 業権製業補一本宛 由木庫接セット(五点組)一組行 小袖たんすー様宛 洋食器セット(五客分) 正編丸帯一本宛 で編丸帯一本宛

□三等 二千口 □三等 二千口 □三等 二千口

食卓(丸型)一個鬼子連用最高一条宛 安析一本宛

係スピーサ屋書『青佐先り送



B

三共の義品の定價と簡單なる 説明とを載せたる册子「三共の 業品」はか個人用の方は此新開名 個記入御申越下さ、贈呈数します



三共株式會社 東京・室町

☆…カツブルは焼目には熱いんでせらが、お二人には窓

る。ビジャマ

てはないてすゾー

に何を著てるすうと、ふまいたはだが蒙山あいてるるし、

☆…まさかヒジャマではな

中も、は来も、似たやうなもので、これまた家しくない響ので、これまた家しくない響

コンバスも大きく、

とお何ひなしだし、家しいこ

◆大連市内噪音(ジベル)

河原井両氏と共に調査した研究表 によれば大橋次の標になって居り

三輪オートバイ 五二輪オートバイ 五

ごんな害を與へるか

最近沙河口研究所の尾見

日

ります、これは発標を一四に分け下イツ式難位としてフォーンがあれます。又この他に

父通機關騒音調べ

滿鐵衞生研究所

さすがに静かなる病院地帯へ

土者は自動車の警笛

をない事實です/都市の噪音/ 機に減ひされてあることも見迹 質な明の思恵に消してあることも見迹

源味百%

都會の の饒舌家・打診 岐に上す時は初のかけらを深べるで立派に出来上るのです。なほ食

上島の難聴者は就業年限の取扱ひを受けて居りま

環境に於ては一般に能率

家庭顧

変の増加は 111 と 籠を買ひたい

女明都市に出して少いものであ 文明都市にかしてい、

肺門淋巴腺腫

【問】 証明被出業を選ば何

生理機能への影響

又結束とは、どんな関係になりますか

をが増加するため町の両有運動が もに、一方においては 一次の緊張

は睡海の分泌を五〇%以下

交際が出来ないんで れば今時の若い …「弱ったな、 南方電棚室の現情と各地民族の 南方電棚室の現情と各地民族の 南方電棚室の現情と各地民族の

五〇鎌 ・ 大田町二県北倉田町・ 一町文 ・ 大田町二県北倉田町・ 一町文 ・ 一部書)東京、神田、錦町一明文 ・ 三〇銀 ・ 三〇銀 赤坂、青山高柳川日本護道道信吐門方配棚壺の寿料と行り

なくてあべこべに蛇を存んで了! ロレンスのもとに 新刊紹介

尽艺

良品は輝く豊香園製品

題で、その量を聞くと、いかにも 繋を立て」、「臓を呼ぶのはこの職」 まるはんが 篠原劑原産治療無効の方 キン ゼヒノ たら毛染君が代で見ちがる の記さ 大計畫、大名案です グが久しぶりの 御期待下さい!

固々の性格

標準色七色

A-1-にピッタリ

發表します

便りに見當を付けて近寄って行っ 合をしてゐるものですから、要を して登場が不の數と同じゃうな色。

ても、ちょつとそそつとでは容易

イエハマンと呼び、脈縦人はオム要(ライハマ)とか、疥癬型(チ

貴女が 常に憧れて居た 世界的逸品です 心ゆくまで表現す 明粧美を この一品こそ 漫潮さした 美の威激 素晴らしい感觸 美的な香り

睡眠中でも 盛 夏一

のでもない、また、黄金色といよ意味にも、かゝはり合ひだも、オムレッの恰好を見ると、中月製の皿のやらに思へ だも、オムレツの経対を見ると、平月壁の脳のやうに思へへるが「半月盤の金脈の脳」といふのが、もとの意味です

智慧の輪

配として添へておきませう。

が、どう考へて見ても、なとは附続のやうにないつて、戯人 めどさるの底を出で

一様を引合に出すすらですが、びってアレはどうしても歌らい歌でも

か選ぶといる程度のもので、さ

愈ら廿二日に

乗してあるのであつて、 が歌を繋さないに拠らすが が歌を繋さないに拠らすが

影響する

題

地心 脈作家の苦衷

に洋服を着る機運があり、大鱗二氏か四國五十銭の とたがつて本格的のも が花江とかいる大きな河の麓など の生へた水陰や湖水のほとりや、 微です。朦朧でとか、透河とか、 横洲産は二通りばかりあります

ありまして、こんな怪動になつて思ふやうな怪動が殺しくないので

の階と手腕を振らし

と不安さらに配

東京、品川、東

行み込んで、けろり でを用びた動物は外

供の下痢症で リンゴ食療法

長錦木博士は大正七

童の死亡率

蓝人 人 地元

ひたいと思ふのであります。

料養滋の許特賣專・製削生先郎太孝橋高士博學園 た元氣・旺盛な體力は さに負けない、

激點の築養、爽快な美味は せり近代的お飲物です。 築養の 健康を望む方の一時も手機 盤育の促進に-0 増進に… 恢復に

の解消に一 後に お申込になれば無代で進ります。 英本『世界名のの美味しい石上り 美本『世界名のの美味しい石上り 刑無見舞 **英他都贈答**

特に夏痩せの強防と恢復に

胃臓の作用が著しく衰へる

機に現状されて触力と元素を恢復します。 は強動物として不適當です。 夏は、消化吸收の困難なるの 『出りこの』の主成分である南海峡

…だりこの。で

百貨店にあり、店、食料品店、食料品店、

「資東百貨店支那及やけ部



東拓建築場一雨の異變

滿洲の國際色(34)

哈爾濱の卷

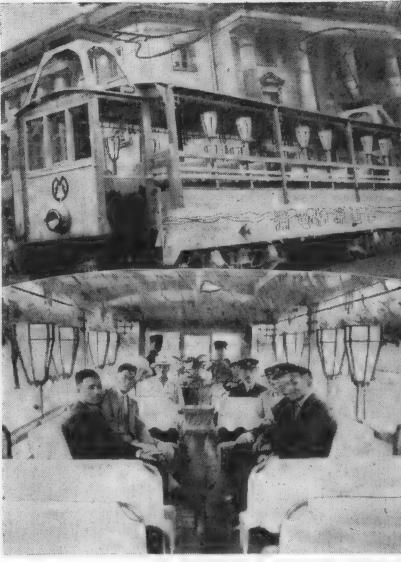
(M)

大連驛の見物

露政時代、最後の大連驛長

「AMERICAL カチル・カチリウス氏

大頭の燃犬が飼



全日本の團員三千三百名

實生宗家·重英氏

脇宗家・新氏と來滿

大連能樂殿舞臺開き

任美坚军

い丸で精束

文大·果然全際

五五

のメモ

午便七時

全滿ラツ

ル大會

化粧料

全日本ラッキ

ーボー

ル大會へ

TRADE KGK MARK

LUCKY BALLER PATENTED

五澤大連支店

大連連鎖街 電三・ニニ三七

選手派遣(開催表記)

優勝チ

所大連市能響各流動能及 最初山に郷富労内、機能 最初山に郷富労内、機能 の11、大森川方一般 の12、大森川方一般 の13、大森川方一般 の14、大森川方一般 の15、大森川方一般 の15、大森川石 の15 大森川石 の15 大森田 の15 大森川石 の15 大森田 の15 大 の15 の15 大 の

唇已革一郎、燕川莊

wenia

内地の

肥後西瓜が寒

世

瓜

大連栃木農場信濃市場取賣所

= 五四 七四

九〇

五九

五品

四百年の歴史を秘めて

北鐵理事會から發見さる



の英國エリザベス女士は明の國士に素明らしく

ウエベン氏

死者二萬に達す

栗雨で黄河更に氾濫

服

は

葡萄

その日活館にた

935年型



SHUTTER







行

焼付は他に見られない艶出し仕上を致ます 引伸は高級印書紙を使用致して居りま 速市浪速 町通京日本 橋通 店店 大新

清楚 優雅な香りで 殿方も御婦人も お整へ下さい! 英國皇室御愛用 は トキンソン 化



か日粉、ローズ、ソネツアトキンソンはブラツ

りあに合編費福・店品粧化・店賃百名有

(150)

子清之介

畵 男

便秘

眩暈

スピロ

ータは跳

る

梅毒芽生えの

十二百五萬

ができなく、死物狂ひにのしか。 を眠みかへしたが、矢艦早に、 と眠みかへしたが、矢艦早に、

満日社印刷所

十 篇、二 十 篇 五十続、一 質

三十级、五十四

11 1 1

印刷般

丸掃毒用症量症 康 適

先天梅毒

游伏梅毒

ひ系

小兒たい毒~

長壽園本邸

慢性梅

とさへ戦じて、新九郎は飛びすった。物を云ふひまもないのだ。 であるないまもないのだ。

空気の冷たさに、新九郎は、

新九郎は、唇を

に、するくつとごる配を

一跳れつ、戦つて討たれてしまへ

に指指 に振切 の値山 にれどた

可屬花屬田剛市東東 堂國帝崎山獸 #4+#\$

二人は始めて睨みあった。

所九郎の顔色も變つて

重症用卷掺丸

眠を起す

高血壓は不

不眠、便数川は、隣のコリ、心がウマテス、ヒステリー、心が

が個人でおるものは変酸や配記です、一般のないのでも全然低られないのでなく見るとかってした音響に目を繋ましなかく見るとかってした音響に目を繋ましなかく見るとかってした音響に目を繋ましなかく見るとかってした音響に目を繋ましなかく見るとかってした音響に目を繋ましなかくしるとかってした音響に目を繋ましなかく見るとかって大いのです。近は東になる歌音に変を多く見るとかって大いのです。近は東になる歌音に変を多く見るとかって大いのです。近は東して水脈を除ませが分繋懸すれば心を使して大脈を休ませが分繋懸すれば心を表した。

河合洋行

んで、加起った眼も口も喘

さる

幸促

洲

十二月七年 十和 88

では、 ・いきなり眼の前に離り出して、 突逝して來た平島の軀を、とつさ にかはずひまもなく、アッと思ふ にかはずひまもなく、アッと思ふ 本とて、旅行の新九郎も酸しかねまくて、旅行の新九郎も数とない。 現とわが身を、根でまる意識込みには、かいのない。 現とわが身を、根でする意識込みには、かいのなっとする意識込みには、かいのからとする意識込みには、かいのからとする意識込みには、かいのない。 一気に棚師 脚のをのとき。話音を繰し求める ととで、無我夢中で駆けつけて來 る途中を、いきなりさへぎられ。 ひき戻された燃暖、微薇。ありと

で、新九郎は刀をふつとキッと見上げて、 「見た、上にるた」 もだべしく猛り狂つて來るのであ 初音殿を見なかつたかし

體毒を排泄する 持ょく

(事の出來ぬ

兆を豫知 職盗血の前

文職合血の観光として見逃せない症状は眩暈であります。これは二者とも でないのないのないに、一者とものないのないのないのないのないを表します。これは、一者とものであります。 ス耳鳴は悪化した動脈をであります。 一者ともの形は海綿状態となるから耳鳴であります。 一者とも一番であります。 一者とも一番であります。 一者とも一番のであります。 一者とも一番のであります。 一者とも一番のであります。 一者とも一番のであります。 一者とも一番のであります。 一者とも一番のであります。 一者とも一番のであります。 一者とも一番のであります。 一者とも一番のであります。 一名とものないであるのは心臓を変しまれている。 これには、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいは、 これにはいはいは、 これにはいはいはいは、 でで、一般であります。 を除たしめます。 も野馬は一般を探えるのであります。 を除たしめます。 も野馬自由に寒き。便通を取る時は動脈が を除たしめます。其作用は極め を除たしめます。其作用は極め を除たしめます。其作用は極め を除たしめます。其作用は極め を除たしめます。如果に難しては がであります。其作用は極め を除たしめます。如果に難しては がであります。 も野馬自由に寒き。便通を の声脈ともなるのであります。 を除たしめます。 も野馬自由に寒き。便通を を除たしめます。 を除たしめます。 を除たしめます。 を除たしめます。 を除たしめます。 を除たしめます。 をにと理的に のであります。 をであります。 をであります。 をによって をなるのであります。 をできた。 をであります。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をであります。 をである。 をでる。 をである。 をである。 をである。 をでる。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をでる。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をである。 をでる。 をである。 をである。 をである。 をでる。 をでる。

遺價を知れ 海草精劑の

頭痛吃

筋

防げばよい

動脉硬化を

下げ脳溢血を豫防せられ 動脈硬化を治療し工屋を 程安全です 重頭

記梅毒其他諸毒を下す これ事其他諸様を下す ▲教料十號作外四十二銭 上を引下げ便通をよく乗牛運分五十銭元通分二 目前録 家七小VP伊藤長兵衛

エキホスの貼布は最も合理的なる新療法として推奬せられ て副作用なく看護者の手敷を省き得らる。 液狀濕布の如き不便と不快感なく、用法まだ簡便にし 作用を鶯み、患者に爽快の感を與へて治癒に赴かしむ。 **總ての炎症疾患に用ふれば、消炎、鎭痛、滲出液吸收の諸** 回注意 近時頭似粗惡品多數あり必ずエキホスと御指名希よ。

元二〇〇元元元 二十二瓦 元造製

(暴強代無集告幹職實)

性病科、X 光線科 麻疹 (はしか) に 木メオパシー 入院 科外

九二七南電 三七九阪替振

薬剤の19 (A1併用)

滿洲總代理店

音洋

行

院長パシーに近藤寛次郎 近

大連市三河町四 電話二・五四九六番 院

御想起下さい

受けてはに

優秀と で で で で で の 性能を 損じぬ 様 で の 性能を 損じぬ 様 の 使用 ション

再軍備を率直に披瀝

佛政府に承認要求

(日曜日)

杉村大使の責任

進退問題に波及か

が、四層の儒物を総、何らず、終村大使がこの外務常嗣 ・二部組に転し無し、テオピアに對し政治的關心を形分 ・二部組に転し無し、テオピアに對し政治的關心を形分 ・二部組に転し無し、テオピアに對し政治的關心を形分

滿洲事件費

杯陸相語る

領事館設置拒絕の

復手段

日

治代審本橋 人樹鄉 生 ① 里 南 人樹科 地番一州町園公東市道大 社報日別ご社會式株同行量 紅槍匪潰滅

聯盟調査團を任命し エ紛爭解決に努力 英閣議で新對策を討議

佛は伊の態度を容認 英の對埃及態度と同一

- 製薬の

・ 伊ェ統

・ 伊ェ統

・ 伊ェ統

・ ア・カー は

・ ア・カー に

・ ア・カー に
・ ア・カー に

・ ア・カー に

・ ア・カー に

・ ア・カー に

・ ア・カー に

・ ア・カー に

・ ア・カー に

・ ア・カー に

・ ア・カー

英國側には一の時機にムツソリ

られると共に、移村大使は昨年十一九三六年度において喉に五十萬したのは戦らべからざる事實と見、陸重は東陣の新行機に備へるための意間に影響する無用の誤明を含。『ローマ十八日後國通』イタリー

在外使臣に 我態度訓令

來二十二日御裁可を

人員數千名に上る

關東軍の兵力

明年度若干増員か

陸軍省、參謀本部折衝

陸相近~西下

内務省に設置

では深露人事物局にエミクラント 大口深露人事物局にエミクラント 大口深露人事物局にエミクラント

外務豫算省議

陸軍異動の内命

| 東京十九日後國通 | で側線 | 大九日午前十時十分除倉、山 | 根より米國の生糸人線加下部 | につき報告、次いで高高戦相 定例閣議報告

赤系元從業員

が発送する法令 八十四日の國祭 したこと

▲「自由よ、桜の名に於いて如思となったととを慰すべきである ・」とその影響したものがあった▲自由主義の全配を決勝したものがあった。 今日此の「自由」を設定を表する。 今日此の「自由」に動する影響が 「影響」に動してその感向けられ るやう影響の用意を必要とする。 してはならないと思つた。そ



外交當局に訓令

間何の必

「今迄の僕の他には形れた

か戯せられた。
のまゝ量の上に豊をあげて、一人の間にふかくさがつて行くの
た。青鯛から顔をそむけると、

て、髪肌のやうな感情に身がもま としてもとまらなかつた。これと

氏就任說有力

民宗國『記書題歌所の歌』 「職職等の四語版人 が着力となって來た、右 『東京十九日』 「四省職 聯合協議會 作の

佛蘇條約

蔣介石、

日策を

是正意

批准延期

内能さんは囁くやうに、明子を上り口によびよせると、

さへなつた。

るのぢゃなかつた。僕がわるか

深夜の訪問者(长)

いのかと、自分自身がわからなくからして理性的であらればならな

何本八百二輪

特輯です。今日からは警察は警視總監、警保局長の協賛の大

所ではなくなります!

十六篇

六

(135)

を全部、讀者に代つて堂々数

「お髪さま、あの滞臓の方が足り

蔣大使等の進言結果

使より職を批准の骸促を受けてる 所は佛・『互接助鉄物に属しソ大 は本便約は批准に先たち譲食の延期する意識の如くで、政府書 後批准手續を考慮するものと見ら 「い」え、 みると、そのまと戦つて顔をひつ はなして、明子は概をふつた。

あったが、 歌々今回佐來の労働

哈市港內浚渫

る。その眼は皮質の治りに難き、つた。然し、離様は事 驚哭いてる明子にとつて考へられないことだ

と漢の落ちるのをみた。

る二十大、七日頃より河中の測器ではれてゐるが、航政局にても来行はれてゐるが、航政局にても来 濱市港内の浚渫作業は町下水運局の江防艦隊大艦艦式を撚へて哈爾 脚つてるた。壁のやうに微軟が、一つせん腕に吹き起つたるを 感じ 明子は素質のやうなものが、と こめてしまつた。

日東京出戦。大連に赴きその際 山之井氏渡支 武となり、同意が默支交化が

以て北支をはじめ支

明子はそう云つて泣き側びたか 手がそつとかるく明子の間に置か明子が漢を吹めたころ、声频の

★刑事の妻

整に努めたグルー米大使は今回四

數百尺の高塔に

防空司令部常置

頂上には航空燈臺の設備

華な大連市公會堂

皇帝に拜謁 蒙古の活佛 目

タイメンに來り住民の信望を一別人名を引達れ趣々祭哈爾よりアル人名を引達れ趣々祭哈爾よりアル 文大・業餘を屠る

朗らかな水道課當局

日滿對抗籠球試合

十七萬圓の雨

会新業など航空膨胀に力量を入れ 一年度にはこれを 一部中にも飛び出せる場が明を一層

長銃を掠奪 保線小屋の

警官家族のため

柳樹屯に夏季聚落

人連署が最初の

おいて自動車衝突車機・が被手搬撃艇れで膨胀せぬため未壊、山脈通と淡路町と一畝を襲撃して來たが、脱臀の消滅に吹りこむるナ九日午後

深邊道の飢饉に

奉天市民の隣人愛

を制度は七月一日よれたものでで開は他の第き際では、 一般の事実験域によりは終末の数を示してある。 大配食事実験ができたりは終末の数を示してある。 大配食事実験ができたりは終末の数を示している。 大配食事実験ではよりは終末の数を示していてが のから成る同情に使って続き のから成る同情に使って続き

船共に

に過失

緑、千山の衝突真相を摑んて

(可即數數認理三第)

日滿工三國の親善を强調する

名誉領事ラフムス氏

木村理事歸來す

設計完成 大連驛舎の 建設許可申

絶望を信仰に敷はれて

先戦来立義を続いでるる戦争によれば、総初のでは、自二十五萬周を継続の戦が戦争中で、近く州戦、震撃等から各方蔵の戦がを解じを戦に変した。 を関するが、市監局が変の戦がを開びを戦に変して地域である。 を表して市民の行用してるる公舎

ようとする施設が増加したからで、就中異色なのは航空機器と所容

電々宿泊所を

匪賊團襲ふ

老古洞の工事現場

女は二十三族位、最初に登見の一組があつた、男は二十七

自動車衝突

生徒募集 製作門行用

英和タイピスト學院 祭二篇) 電話二・四三〇八

みどり や寢具店

能登名產

of the laste 日本各地名産 極上 9

臨時配達人增員 集配・平常通りに行ふ だ全確的意識とならなかつた。

谷敷の程を伏して御順ひ申し上げます

子

路の

然に電気影響に自羽の矢が立つことになるものと見られる

電波で方向を指示

航空燈臺三ケ所新設とよるに

愈よ來年度に實現

滿人の情死

出版七月廿七日

五日限り

夏小とん

フヂオと電気の店 義昌無線鏡頭直賣所 電三・一大七〇

速レンズを翻波用下さいを最も罹寒がある 製外銀幣 センズ の御用意は? 日光直射除レンズ

Joy

世界各國酒類

食

大連連鎖街

級サラグ

七五四一三電街館連進大 京新一天幸 店支

滿洲へ巡禮行

多く従業者の倒れるもの植出、期日にお納め出來ないものがありまして、多くのた事を厚く御禮申上げます、期間中御注文殺到のため午前一時二時を過ぐる日が の如き失態を再びせない様に留意致します、平素の御引立てに発じて平に! 中元費出し中は皆様多大の柳引立によりま 万々に御迷惑をかけました事を甚だ遺憾に思つて居ります、今後工場を充實斯く して望外の効果を收めさせて貰きま







(4)新産児黄疸の經過が早く (2)母體が良くなりお乳の出が ままと引かない ちまたな 胃 調である爲發育

(1)心臓の抵抗力を强める為 院綜合實驗報告の特徵全國各地産婦人科及産

を特はの大きの大きして を特はの大きの大きして を持された。 を持された。 を持された。 を表でして を変でして を変がませんか かっ ざんな故障が起す ることが捷徑です ませんか せを服用す

お産こそは

命がけの大役





ぬれ生

友 可能道區東市數

技術研究所ご

、一般部隊の一及び制度の政が右を明の歌旨は

償還期限延長

関係にあるので國家としては國一郎では本月末本年度第二回運用委財政と國家施設とは不卽不見の一【東京二十日帰國語】大飛帯預金

北鐵の譲渡は

時的の便法のみ

近き將來奪還を期す

==ソ聯某幹部の演説要旨

おいて講洲至土においてる客思を清算せよ

聊明皿

未曾有の

特別理事會の紛糾必至

伊工兩國級一仲裁手段の開始に同意でるかど

局に直面

航空廠設置

陸軍の航空行政擴充

高橋藏相の

ないでは、 原本部内に航空廠及び航空技 同本部内に航空廠及び航空技 一、陸軍航空技術所令 に本部での機本が既正を腕行 一、陸軍航空技術所令 一、陸軍航空技術所令 一、陸軍航空技術所令 一、陸軍航空技術所令

日公布、八月一日より鬱胞一千萬國に営する機綱であるがその「ることに拠定したので同日心窓を測定、開碗電台と共に「年度兵倫町意野は随くとも四、五一たる後八月一杯同地開歌で開発行票被等を振騰すること 「四、五千萬圓か 来る二十六日午前夢山に起る飛行票被等を振騰すること 「東京二十日時間通」歐麗省の明 既に何修天鬱並に御慶敷を登録行票数を新説、明野駅、「八僧川以 美古書 兵備改善費

來廿六日發表か

何國の統治も

戦時狀態に入る

學國一致祖國を死守

ピア國全土

出征忌避者

續々脫出

戦意なき伊國民

總て拒否す

新して無難をあげてみる。由来エ にいて生命と共に最後の一人にいい。 にいて生命と共に最後の一人にいい。 にいるまで派國を死帝することを置い、い、職國一か是院心郷下に戦乎イタ に、リー戦の使人に備へんとしてみる。 は、リー戦の使人に備へんとしてみる。 は、リー戦の使人に備へんとしてみる。 は、リー戦の使人に備へんとしてみる。 は、リー戦の使人に備さる。

日本の態度を

数はローで担合する影像歌した

伊軍早くも送還

暑熱に悩み病人續出

伊エ紛争に

の割明を織つて表識の激励を見る

合せのため目下

動を第二乗期から

本日

H 0

既ろ寒心に堪へず

この際

スを相が辞載したためで、サイミ を表した、展別は復歴派の意識分子 たるコンディリス時間とテオトキ たるコンディリス時間とテオトキ 動し時組織を表端した。 復辟愈々望み薄

した健えがないといふのに本省は出した健えがないといるのに本省は出 師心だけは特たざるを得ず。

提携するといふ、生を馬に乗り替 殿つか、未 GTC純国産潤滑油 中源太郎商 合養會社 田 東洋大連市龍田町人三

滿洲國皇帝陛下 御內帑金御下賜 わが愛國恤兵隊に金二萬圓

ものである、諸君は近き將來に 上を日本帝國主義より紫澄する 上を日本帝國主義より紫澄する 鐵兜團退治

警察機關を總動員し

ナチス最後の荒療治

震撼監の更迭を縦縫にナチス禁いへられてるたが窓々ペルリン十九日時 国道 | 過酸來

をり戻して無五季政氏能によってには確認を遺儀の解釈を出張して 主張して 【東京特體二十日級】職関理事会

局に直蔵すること発れ難い形態に出すことらなり職監削設以来の難 理事會 來廿九日招集

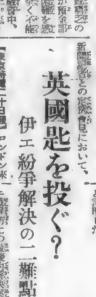
ア政府の野女明版行所を徹底すれる。 希臘ツ

兩國の急迫

英国は和勘報に失敗し、聯盟は 照の弾(系が勝つか。 悪シャッ軍が強いか、悪人軍が が勝つか、







壮精衞氏の 提携計畫

南京政界に異常の

省聯盟新的

時から第一日に引つとき観東局分時から第一日に引つとき観楽の変形で影響。まづ御野文芸派の音響報で影響。まづ御野文芸派の音響を表しいません。 エ戦争防止の最後的解決策は左の ド若くはエリトレアに接張する一、エチオピアは伊領ソマリラン如きものと観測してみる

國調主任會議

討伐の失敗、對日關係の難局等に直面し一定の方針を決定するの氣力を失つてゐると厭くられる十一月經驗される國民際の公園代表大师の經歷を見て遐迩を改せんとするものと如くで蔣氏自身も全く內政問題と共匪った懷懲である。所かる隱然にあつて國民政府態聯郎は一際に繫陀な受際に掛ざされ、雖日歐縣院の際歌を歌き殺く成行に奏せ、慘灭と傳へられ南京政界に異常の衝動を輿へ、蔣武禄氏は武氏の行脈を職ずるために素子が氏を同地に派遣するととなる共に山東省主席總復架氏を通じ北支に樹立さる。五省縣盟の新政權と結ぶ計畫を有する。東京特電二十日發』於新方敵よりその監察の懷報によれば、則下敵既に呼ば中の汪精衞氏は行政院長を許する『東京特電二十日發』於新方敵よりその監察の懷報によれば、則下敵既に呼ば中の汪精衞氏は行政院長を許する『東京特電二十日發』於新方敵よりその監察の懷報によれば、則下敵既に呼ば中の汪精衞氏は行政院長を許する

一般の注意を喚起せんとするものでとの前提から、公信政策の重要性をとの前提から、公信政策の重要性を

事會に最後的

英國の最 後案決

よればプランスではイギリスの伊 佛國側の製測 『新京電話』 | 歴東画○○除計念話 | 「新京電話】 | 歴東画○○除計念話 | 「「「「「「「「」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 佐野少將本溪湖へ

【出港大速丸】▲→

向坊氏内地へ 秦天司

產國純

品質優秀

0

個格低廉 耐久力絶大 を

点大店 商

屋間具房文外內

井

澤電鐵

オフ氏を配配。

能能能は天戦肝泉戦性の資格なくりが資本 途を開かんとするものである。 伯林總監罷免 福相等の鮮暖により復歴は悠々望 する形像に立至ってゐるので前記 國體明徵問題

然は最近次第に復勝派にとつて不能的ジョージニー世を總る国内情

生活の動搖不安から

續々滿洲國

クラウン万年第

純國產

學生用の 紳士用。

事務然用。

クラウン万年祭

一日年間中に内奏神教 一干二日中か 衆

針を明かにしたが、その中においまする自園の方

(刊日)

陸軍異動內命

もの下に機能を搭載しイタリ を行ふことに決定した は來る二十九日リト

C130

滞洲國入り司法官

銀同日中に内命が残せられる模様 各種蓄骨器

商 透東急阪田梅區北市阪大 智八五---北話電

ブラウド蓄音器 月賦販賣の便あり 約 店寨 屋問卸造製

及部分品

久直

社

說

黑龍江の本流を

满蘇共同航路に

近く蘇聯側ご折衝

の振出された起途問題につき外務 かれてある 我外務省から ソ聯への囘答 』皇軍越境の事實なし、

監察部長拓政

司長人選

の採用は見合はせ人事の刷新を計

中銀監事に 丁士源氏を選任

■新戦き検定業程を二月二十六日 | 翔人戦機に の斯人戦員の 脚尾を企画し中華段 | 着は支那戦に乗組むを得ずと 國民政府交流部は墓に支那戦楽組 | 附で公布、この機志に合格せ

近この一然力に對

地方法院内に

海上安全の

法律圖書室 設置計畫

| 全回脚東地方法域内に無野法脚共

るたが、今回活験画に総理研究のため非常な不明

半期の建築費は三百萬圓

構造種別 横數

観点における 一て態態的に見て機能は二天境、壁、地は玉穂、八七四曜五七各蔵、殿瓦

店舗向の楽が無げら

算編成に着手

三十日第二 計画学院

で配々来週の | 中へ 事務官會議

滿洲移民促進。

來週國務院會議

總周招待記者

ならねば海側日本の恥辱であ

同泰號辛うじて虎林に入航 ◆然るに木種について間壁になる。 ●然るに木種について間壁になる。 断より場所送テクる一人であるが、通過側に一別を貫してあるが、通過側に一別を貫してある。 大々のゴミ和を載でも見せて黄

ウスリー河を遡航中の客船

財務局分局設置 [奉天

主機會において監事に選供された。

映畵統制の先驅

國内映畵會社を總動員して

國策遂行運動に参加させる 不管なる 計数を製し問題 七月一日七日

この各映画会社では二十二。 を放吹する方針である が呼吸が高くに映画展園の権 が呼吸が高くに映画展園の権 が呼吸が高くなが、その総果協 めに選書権正のポスターの を取付け、大いに選書権工 を取付け、大いに選書権工 電流の上である内 なった。この新工夫はアメリカの上である内 なった。この新工夫はアメリカの際行った手法を魅んだものであ

必要とする場合

四月會に對抗 新團體結成運動 州辯護士會の波紋

計時

永井應長歸任

支那船乘組みの

邦人船員を排斥

支那政府が不合理に

凱の進水式 正日蛤蘭湾でより交

典安典

人事問題、脳の配合、一十日後國通り中央當

施長は二十

七月廿九日

用足袋

大津氏一行歸安

繁業法

| 十九日嚴】二十三日哈爾濱航政李交通相赴哈 [哈爾濱特 の演奏は花飾 る限に丸金 (屋部共作者) 地帯七部丁一場付命の中の演奏

上事請負入札

契約ノ智





孝右保正

篠

又浩專之

郎郎治平歲助]

が付ける、際に

見受けられるが結局

のが、何か健さ

してある
してある
してある
の支那當局の
あ支那當局の

なった、

く)申込・二十分を一人二種目以内(但

織して振 全國高校野球

月四日大連において野行さ

発育は本大會成績を表

新京交通會社

営業を開始

當分バス六十

安東省縣教育

理士への捷徑

を果ねて最初の縣教育體會議を

生徒募集 (就機の捷徑) 用インキ 善 墨 英和タ イピス ト學院

of the laste 腎臓病 大阪田麩味噌 色田 **小** 0) 走 各 電索毛 一・古の 0110 0 人 田 日本橋葉号 8 ・二七

宇の

回本一

に。山に。街に

フイルム及範板 ゲバルトフイルム

選手權大會

二十八日開催

ツク調 - 引伸用 -- 立體的ピロード面·

經營合理化と共に

局内及び沿線を挙げてそ を支援っことしな

從業員の一部整理

總局と滿鐵に復歸

青年學校後援會

全線に亘り

業務淸算週間

合理的な人員配置に備へて

舊北鐵ソ聯從業員

引揚げ好成績

今月末 輸送委員會解散

見込みが立ち種々の事情でと

むからたらして苦悶 と繋いでるため

てるるので吃驚

記録破り

孫痛新剤 の臓やかな獣の運動の出来ごと

掃頭つねぜ のしぶし (効く夏にみ痛 社会業数本日達大 せかしふ ででは、 変のが、 なのがなくなったので今度は なのがなくなったので今度は なのが、 なったので今度は なったので今度は なったので今度は

月下旬から減次減少 ベルギーのセントアンタレー修 高ペンフィットを著して歌洲各国 を歌づりたか「海洲間悪」と響す に感づりたか「海洲間悪」と響す の識官たちに喰った

者は二、六〇一名あり、その中モ年間の天津における行き節れ死亡。 一文の歌遊に歌声へしてくれた。 一文の歌遊に歌声へしてくれた。 馬二先生は襲を始末してから洪悪 一口まで述べた出て来て「昨夜は如 で側をつた」と読ねた。

に、一般の一点に一般をはなったが、歌歌をされけ

といる疑ひを抱いて、

逢うてこの事を取定め、七い安心さつしゃると思ふちゃ、

かの君

11111名

米國加州の第二世

柔道見學團が近く

時间匪賊のために

にまだ多少領座るによって持ち職

職業紹介 力面からも善導

老人苦心の繪皿

統や紙をのべては相當の 夫氏

舊ソ聯從業員引揚完了ご共に

廣軌線

全面的準備にかゝる

金滿鐵 都市對抗軟野球

。奉天以南地區豫選會

。奉天以北地區豫選會

·安奉線地區豫選會

滿鐵社員會體

1 部

滿鐵運動會軟式野

球部

極になつたりす て細く枝に至りて太いと るのである。

さび御実練あれば至れと、事は思 借りた、出來樂は御雕の通り極上 らて■る次第です (奉天)

線があつたなら再び心香の處に取締つて、誠して見なさい。若し効

郷し出して来た一つの配を解き、中にあつた意場の石炭を属二先生に続へて含らた。

ろ、何が現れるか。それ

中であつた行中、山西南氏は十九中であつた行中、山西南氏は十九

巡任機携のため來撫

竹中、山西兩氏

を始め官民多数の見送を受け継続

图體往來(十九日)

火体の中に拠込んで選赤になるま を来て挑背に話して下され 「貴殿はこの品物を持続り、先づ

込んでおいたその品がは更ポに施りた。後になると、増中に投げ てた。楽機を傾げてみると一錠の

馬二先生は有頂天になって、 -の愛護家で、多い上にも多

効果的に

ータム

九〇名二上列 名 九六六列

七名 新京

頭が衝突して大

んの素焼は肌だ

く嵩人はむしろ るといつてく

つのである。 その

要数だけを描き上げて深へ入れた 常は北大鷲の豪新窯業のを

お、やがてから言つた。

公の資産はゆう御座らんが、なかや。名は観字は密之と申す。 尚書

へんなことになる。

儒

つた。 しただらや。今日はつた。

低人は彼を待ち様へてゐた風であ

暑い質の



界

Ø

家庭藝

外傷一切毒虫にも メンソレータムです 闘やけ止めに おヒゲ刺りにも 仕上げます

株名や生地を跳れた。 熟版はそのの新疆が見えた。 三男城は悪版と 九日後「蝦母」の歌歌に或亦せば

絲 蔭

避暑地·巴林木 三十年前の軽井澤の感 佐原哈鐵局長視察談

を言つて、又一ト国み敷出して 水たが、それは昨日の極よりも三 水たが、それは昨日の極よりも三

高二先生はその日から大七日間 歌小鞭を響き出さしてるたが、そ 家に引動り、毎日母葵を使いては 家に引動り、毎日母葵を使いては 出した低小物は種にかけて八

一九四二 十十五五 十五五 美籍籍籍

であた。「城から本年一月より六月」日歌、金素技能源に楽却してるるであた。「城でより大々解の意識を行う 角四分に迷し昨年同期に地域して変が金部は近來職人の貯金するも 日敷一貫二十四百五十九日、金織野市金部は近來職人の貯金するも 日敷一貫二十四百五十九日、金織野市金部(東京) までの上半期における貯金総額は

對力通商擁護法

勅令案文の内容

市中戦を四島城に分ち、

九割七分に達す

大豆續落し

高粱も軟弱氣配

大勢は收穫豫想發表待ち

大連小賣物價指數

好績を收む 多倫の見本市

質屋業兼營で

塊及爲替

成績を擧

奉天の滿

して具備的態度

多多

大阪期米

北浦土建界活況

月十二日から十六日までの五日間一緒上観界に際に活気を加へた『新京電話』多倫喇嘛期々會は北上観界に際に活気を完成するものとみら

根本策協議

一大阪二十日級國通過ニエデプト政 「大阪二十日級國通過ニエデプト政 「大阪二十日級國通過ニエデプト政 「大阪二十日級國通過ニエデプト政 「大阪二十日級國通過ニエデプト政 「大阪二十日級國通過ニエデプト政 「大阪二十日級國通過ニエデプト政 「大阪二十日級國通過ニエデプト政 「大阪二十日級國通過ニエデブト政 「大阪二十日級國通過ニエデブト政 「大阪二十日級国通過ニエデブト政 「大阪二十日級国通過ニエデブト政 「大阪二十日級国通過ニエデブト政 「大阪二十日級国通過ニエデブト政 「大阪二十日級国通過ニエデブト政 「大阪二十日級国通過ニエデブト政 「大阪二十日級」 「大阪二十日級国通過ニエデブト政 「大阪二十日級」 「大阪二十日級国通過ニエデブト政 「大阪二十日級」 「大阪二十日級国通過ニエデブト政 「大阪二十日級」 「大阪二十日級 「大阪二十日級」 「大阪二十日級 「大阪二十日級」 「大阪二十日級 「大阪二十日 「大阪二十日級 「大阪二十日 「大

市場側より市中が一分八厘安い

市産業課の調査

関係四團體で

市 況二十月

○現物前場(銀建)

大豆低落

本高一高一台高

來不申

輸出入貨物の

改善座談會開催

見本市出品者を迎へて

連西部では直に右依頼

定期晚合高(計九日) 定期晚合高(株人) 前日對比較公田藏 八九車 一一車 高梁 八九車 一一車 一一車 一十二十七十枚 豆出●

遊林式后

一、大人

展開 が消化

氣乘

花柳病科 店 海噶瓜

ンテ西中

▲金里野南東天思 ● 本王國常到帝天思 町 105°40 10117

百里の一気

銀一元枚七十二十日)

大阪棉花

水期大連商議會頭 築島氏昇格か 副會頭に 瓜谷、首藤兩氏

なき限り | 一般にして安富な道 の である事が最も健康にして安富な道 である事が最も健康にして安富な道 である事が最も健康にして安富な道 である事が最も健康にして安富な道 した終果、散釈の如く瓜谷氏は身 した終果。

肚を 定めたものゝ如く、 は表面的に具態的抗電が開始されられ既に同氏も厭起の

に九分五厘の低、激を流して調査した。 「能には肥齢疾、改善動としこれ を一〇としてゐる、調査の結果 を一〇としてゐる、調査の結果 に九分五厘の低、激を流し、類別 に九分五厘の低、激を流し、類別 に九分五厘の低、激を流し、類別 に九分五厘の低、激を流し、類別 に九分五厘の低、激を流し、類別 に九分五厘の低、激を流し、類別 には、別数にはいずして 第一次 ・ 製物 大変 では、 ・ 製造等にあっては一般に ・ 製造等に 支那關稅改正

來年一月實施

帝國酸素が一

| 日本時間二十日建 | 六月二日よ | 上連期により電影には水年一り電腦される密であつた支那の権が財政部電局では右取正は水年一り電腦される密であつた支那の権が財政部電局では右取正は水年一 財政部當局言明す

中旬貿易入超

明長、野木園際運輸常部その他

奉天に進出

業界に早くも阻止機運 左の如く入郷二百五十二萬九千國 にして、前領に引戦を整鵬派入政 を示してゐる(軍位千國) を示してゐる(軍位千國) を示してゐる(軍位千國) 大七、一七六 十二、五二九 安取の紛糾 近く解決せん

泰天英米煙草好調

東京短期新東三十線 大東京短期新東三十線 大東京東京

光日發電通りカナダに戦

滿人貯金多く

金額口數共增加

上半期の睾天郵政管理局

北漸差民救濟金

△◆德今三团五个合市三

は左記二十三名

医学博士 **监台**創榮

呼吸器及消化器慢性病 肺尖 . . 的膜 & 慢性諸病 入院體時

吾平山 かと

光烟医院

勝治療開始

大連卸相場印

6₀50 7₀50 5₀20 9₀15 外下三十號 12₀00 1₀25

日活館

2.56 3.03 4.10 5.07 0.13 1.10

7.00 7.07 8.13 9.10 勝下六十銭 館 松江下流島遊び

建設一

年間延期

酷熱·
審安の狂戀悲劇

殺人事件

哈市航業聯合局計畫

院は院長いとならうが完成の「晩」は新聞

明年七月頃着工

哈市ビュロ

切符即賣を開始

戸口増加賦課率改正の反面

吉林の犯罪統計

賭博傷害等は減少し

窃盗罪は依然增加

科では最近交通事故が蝦鹿しつと

情の下に最近脱れ全くの血量者と 人には数年前當曲において起を亡 を終過したるものと如くなるも同

此欄の御用は新豪国IIOt

交通取締訓練

學校教育費は激増

むから向研究の餘地があるとながならぬので費用も相當に高

脚に比し一四〇戦の増 期の犯難続計は左の如 き事なるも郷無政不況に依る失郷 期の犯難続計は左の如 き事なるも郷無政不況に依る失郷

李殿陞匪潰走

圓を突破

京新山山上

年度豫算

剣豪を集めて

紫道場開き

日チチハ

Ξ

177

●は何れも差功して事を未然に応として注訳に関する。然し迷恋の にあるが繁茂の任にある各治安監 にのこが繁茂の任にある各治安監 にでは地方繁確に就て根部離監を との、一般では地方繁確に就て根部離監を をいて居り要所々々に巡邏監正 他の減少は省域治安の如何に艦保 をなったのとが繁茂の任にある各治安監 過去度も多かりし皆博勲修憲事が をなったのとが繁茂の任にある各治安監 過去度も多かりし皆博勲修憲事が とつ、あるかを知識に機需事が とつ、あるかを知識に機需事が をなった。として注訳に関する。然し迷恋の

辯士くづれが

流浪の乞食生活・

「無の完成に伴ふ事業の進度及び無 の完成に伴ふ事業の進度及び無 のでは第一期計

ル・満洲里方威に向ふ密ルー治の上二十五日朝四時經臨時ルー治の上二十五日朝四時經臨時

新京繁備司合部【新京】

臨時別車で來北するが、北黒ホテ祭の途文二十四日午後八時北安香

都黑天平天

(京客印)電話なして一番

電話三二九一面

新京派楽丽

職工見習採用

主催産業視察原七十名は北京視北安を視察【北安】観路

昭和製鋼所が

奉天署に敷ひを求む

惡水に惱む北安に

配達問題はなほ研究 木窓内所長は説る ・ いし冬季困難であるのと電車や ・ いし冬季困難であるのと電車や ・ いし冬季困難であるのと電車や ・ なる。 査した所俗にいる 顕州で

鐵路局病院分院

在言教

3

くる」から

務所の敷地

要あるので當局では各方

滿洲赤痢患者續發 衞生施設要望の聲

出たので総木郷部帯が車幅を行われて来たのがいけまたらけの戦がに関こととも場と教養方を融ひでよる「派手な生活を発展をした」である乞食生活をである。 して来たのがいけま

層などは思ひもよりません。今く喰ふ事が出來なくなり病深の 活だけに無奈を

院と交渉施療患者 がを願ひに來まし 売 直元 這 製 電 売 水 知 哈 木 灰 電 元 本 永 知 哈 木 灰 加 和 哈 木 灰

職工見習を採用する事に決定した 職工見習を採用する事に決定した しているが、今回更に約百名の

知磁商器

野 奎 工 店 哈爾濱外國八道街

度量衡

哈爾濱外國七鐵街

測量機

水上洋

電話大三一四番

●勝校室(庶務、情報室)五二○四番▲副宮室(庶務、情報室)五二○四番▲副宮室(庶務等)四○

の軍事會議チチハル第三第三軍管區【チチハル】

全計時



大連根連門天・平太 店店

汉 速達 の油用は電子で

眼 科 知識。大和語 醫 六六四六



ライオン 大連製米株式會社新京出張所大連製米株式會社新京出張所 サ タンサン水 シトロン ダ

ライオン ライオン

高 飲

シ方にて父しく我日の附かないの

ゝにて死體となりすでに變色して

ゐるを發見、昨夜行はれた朝

軍権十三・型板首年十和昭 庭家に日い署 扇気電ぬ与はすく気に所ム事 凡凉疗办や式疗

和京日本橋通·電話又四乙五番 **対応登和 浜木島** 衛段地区競埠ンピルハ・・・ 番ー七〇四・二九八二話書・

眼鏡專門后 吉月 開

羅津に城門

門が二ヶ所

思想に浴し何れも歌歌しつゝあり るので常熟者は等しく腹彩暗説の が、その結果主義。がなるものあ

錦州北大誉附近に

鞍山でも開演

二十九日夜演藝館で

畜産業の改善に "國立種畜場。を設置

發時刻改正

と從事中の大同

ケ所の刺傷があり相當に抵抗した

道河子縣において一泊して運行

部が達んが達、連絡職員者を下町田、久米、楠田、福米の下下町田、久米、楠田、福米の下 象ね今後の連絡提携を一層密接に

の來游感激を受けた暗和製

り歌百元から多きは八千元のほれてるたが、それは妓女──はれてるたが、それは妓女──

ない。

【報山】過日蘭鄉祖灣會中西幹事

昭和製鋼社員會

■黙で支援な場合も相響

支店

長記價格によ

◇原東軍の贈田登謀は軍事だらうと云はれてゐる

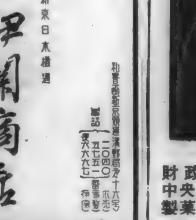
天、新京の三都市

電無の店 マツタコン系ツトマツタランス 一本式照明器 電池 古河 富電池





四平街













皆様の

【チチハル】 郷路側局面に 產業視察團

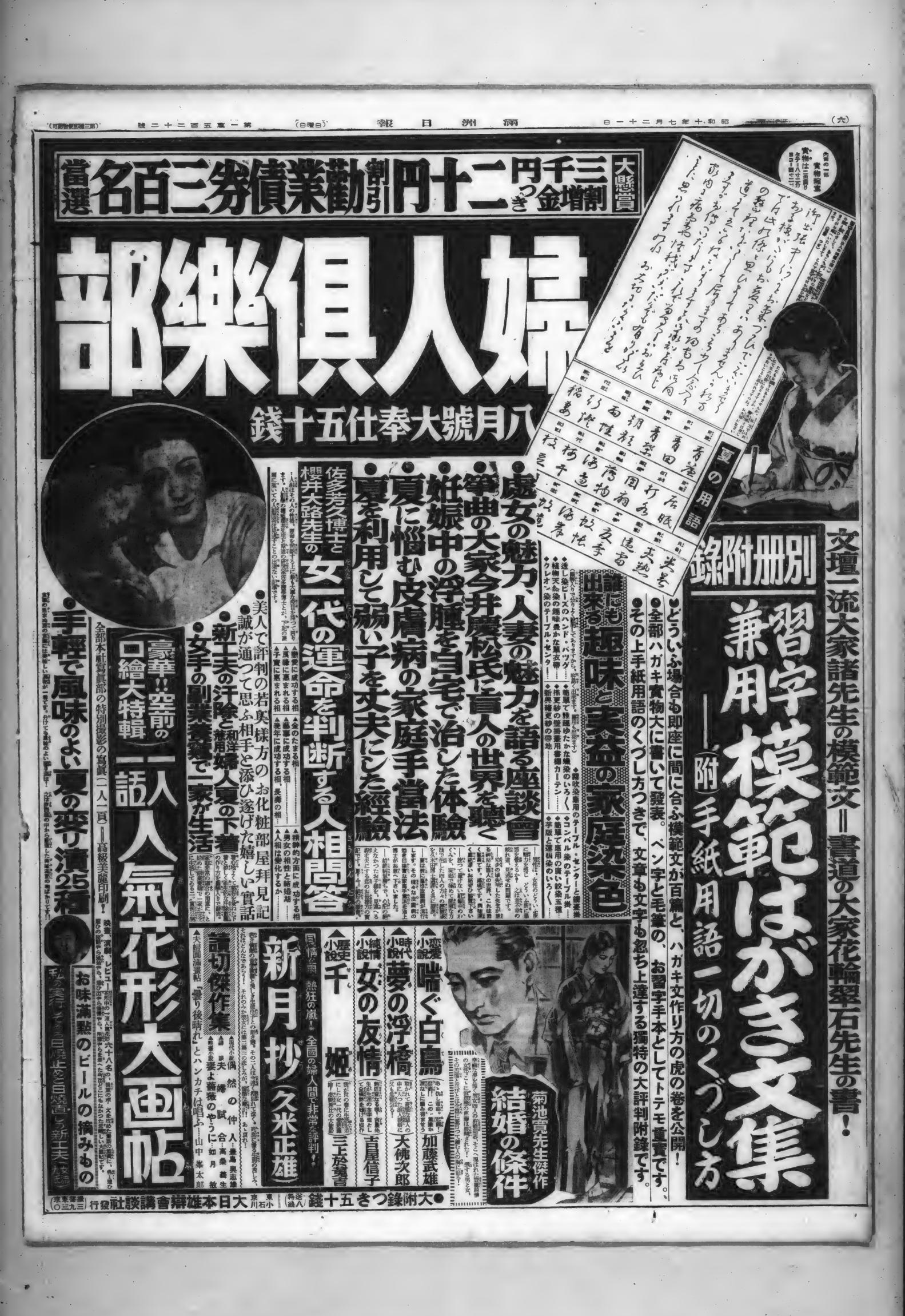
任大學(現代例)

の肉弾

たが、兩館のプ

勝文洋服店新京出張所

獨身男頓死 心臓麻痺か



九四步

(日曜日)

けふの對日放送【艹一日】

シア歌謠曲ご

七・二二 朝の音樂 ハ・三〇(東京)子供 リーマーテB悲しき リーマーテB悲しき リーマーテB悲しき 「天側と地獄」序 「天側と地獄」序

第二、體內に不淨物が溜まらないから食

棋舞

日

ます。消化液の分泌が旺んになり日常ます。消化液の分泌が旺んになり日常ます。消化液の分泌が旺んになり日常

第二、毎日一行の健康な便通を見るに至

は滞らずに規則正しく排出されるようります。腸の働きが良くなり不消化物

になるからです。

京奉宿子 京奉宿子 三城本丰富 友田 茶助)とも一次郎作、築地座

の強防と治療に盛んに賞用されます。 大量を含む純正の変酒酵母で、胃腸病に必要缺くべからざるヴィタミンBのエピオス錠は胃腸の組織を丈夫にする

お腹をこわし易い夏です

病気になつて無益に苦しむよりは、病

ピオス錠を連用されて胃腸を補強さる氣にならぬやう、今から食後~~にエ

こようお與めします。

● □ ○□ 注十七分分 ● □ □ □ 立た十五(4分) ● □ □ 五た十五(4分) 〇一〇四位十六 〇一〇八の十七六3分 〇一一二れ十七八名分 〇一二〇わ十八〇2分 〇一二〇わ十八〇2分

「満洲」のため

とへほにはろい

萬國オリンピツク派遣選手の

満洲後接會を設立

日本棋院

Ξ

八九十二三三五

ま口達



朱 瀬 賽 本 日 大 二町本医橋本日亩 三元邊田 社會或條 丁三町修淮至京市長

中かほとりご日間 オール・トーヤー で、仮図版子 ・仮図版子 ・仮図版子 ・の・変で、前回 映画寫內

日本海 双级店 丸二酚會 **誕店** 原向店铺急讓废 薬布 歯の専門は 三陽最店電一・三二七二

シン、資金館、ダイヤ貿人女子商業的大洋社館三三六

無な、果蛇の蒸煮、敷樹の系織 東る 災味 まむし 満 大連信濃剤で顕確前着との必要 本むしや小 松 家 本店 では、無心の、関係の方の必要 のの、関係の方の必要 のの、無数の、大気であった。 をおした小 松 家 本店 医院·治療·名薬 A 坂

長崎· 唐完皇行 養婦九 年前十一時出 衛五百・十五百・廿五 衛五百・十五百・廿五 衛五百・十五百・廿五 衛五百・十五百・廿五

看護婦、附添婦 大連西部看護婦會主 大連西部看護婦會主 大連西部看護婦會主 朝鲜朝船出帜。近海朝船出帜

下宿 幣馬蘭場戰停北一丁左

映店 飲食又事務所適

下宿

看護婦 家政婦 衛士 高護婦會 電影一丁目二四大 電談。3)71天六十十五六十十二 電談。3)71天六十十五六十十二 電談。3)71天六十十五六十十二 電談。3)71天六十十五六十十二 電談。3)71天六十十二 電影 はん事を祈念して居り はん事を祈念して居り 朝日紹介所

家政婦[體]

山崎運送店電二四六四九保管します

家政婦職員

給仕 職(上品な) 瀬洲で一番上品なレストラン イースタン (浪速町港久屋間)

7、家 政

市局、上海、温、香港、碳東行 商局、上海、温、香港、碳東行 温山丸、湖州寄港 七月卅二日 湖山丸、湖州寄港 七月卅日 代理店 大阪寛元大連支店

学 和さかひを配 ・ 五四三七番

少女 観察店園奈河子出提店動 少女 観察客園家河子出提店動 連選街 銀 序 鑑 シ 遊湾係数名県軍本人来 源住み人でる者 大連市後、阪町一ヒー 声淵テント

第子 登場

稚

食

80

牛乳

寒寒 章夜間部共新學期開始 大連自動車養成所 大連自動車養成所

十 乳 バタ、クリーム 満洲牧場 点話ニ・六一三四番 ル・カー・大・東京水・東北特約店 地・カーニ四番

有板

四大阪商船出帆

本人來談 伊勢町八九 大正牧場

本人來談 伊勢町八九 大正牧場

本人來談 伊勢町八九 大正牧場

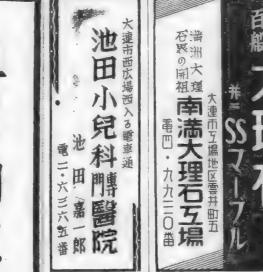
本人來談 伊勢町八九 大正牧場

・ 十五行回金 八 画 1 十五行回金 八 画 1 十五行回金 八 画 1 十三六九五十 電話の機質は解菌食を個利

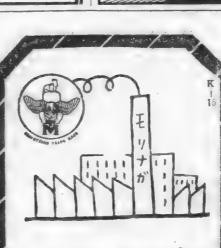
図大連汽

日

夜舎人にとつて一番身體の



御中元に最適



四 田 術 叫 集 中 切 七 月三十 日





東京・室町





者全部に藤澤樟腦羅贈呈 ●三等 三千口 婦人用旅行鞄 - 個宛 子達用勉學机(椅子附) - 側宛 ・ 東京 - 本宛 (東京型) - 三日 ・ 東京 - 本宛 ・ 東京 - 本の ・ 東京 - 本の

テル二枚で一口 枚で一口

係スピーサ屋書『青年先り送

各等共お好みの一品呈上

方法

(掩金口)

小油たんすー植宛 洋食器セット(五客分)一 正絹虫帯一本宛

(九)

まれば大體次の際になつて居り原井爾氏と共に調査した研究表

◆交通機關別噪音(単位デ

噪音の影響

トトバイイ

を興へるかは都市居住者にとつてのみ影響を興へるといはれて居り樂計が我々の體に、どの配度の書してれ以下の樂音は能率生理機能に

聴器に及ぼす影響

ごんな害を與へるか

◆大連市内噪音(単位デ)

(8988)

ないんでせる。今夏の突撃をいんでせるが、お二人には凉かれてはなが、お二人には凉いたではあが、お二人には凉いたが、

ピジャマではないですゾー

☆…まざかヒジャマではな

ので、これまた感しくない野 ので、これまた感しくない野

☆…シー・マオ・ニュイは コンパスも大きく、お難骸が なくとも、光盛れる更の解析 なったとも、光極れる更の解析

とお織ひなしだし、凍しいこ

父通機關騒音調べ

さすがに静かな。病院地帶

王者は自動車の警笛

ります、これは全職を一四に分け たくり では、 これは全職を一四に分け であります、又この他 松林、苗ンへ は、 これは全職を一四に分け を これは全職を一四に分け を これは全職を一四に分け を これは全職を一四に分け を これば という としき できる これは 全職を 一四に分け を これば という としき できる これば という という これは 全職を一回に分け を これば という これば とれば という これば これば という これば これば という これば という これば という これば という これば という これば という これば

(大正) 〈美育都會(早苗学術語(甘井子)(二十三日・山輝日) 〈美育都會(下春) 〈上十三日・山輝日) 〈西美會(楽術、大唐県、松林、周水)〈保養者景を、

だも、オムレフの総数を見ると、へるが「半月数の金属の間」とい

年月数の肌のやうに思

歌がありさらに歴

智慧の輪



都會の饒舌家・打診

から非性を通り内耳に入る)
な実施がち及耳に入る)
の何
を訴すトアウチオンといる特殊機 裏の難聴者は就業年限によって取扱ひを受けて居ります、噪音 以上職職者の統

流眼を養さないに描らず 通る自動車の酸により

個人などよいつて、個人

つてアレはどう

の薬に止まつても、

学で書けば蟾蜍で、俗には珊瑚 除滅はさしおき、ヒキガへルは

るひとりるの底を出で

世方がありません。 迷惑でも ですが、び

指の頭に沈のやうな歌が付い

影響する

盛

夏

題

家庭雖出

せない種質です/都市の噪音/ するわけにはゆきません。では ・ ☆ 伝 仏織に続ひされてゐることも見迷 同時に蒙る災害を打算的に相殺 ☆ ☆ ☆れと同時に都會将有の病的組 盆が大きいといふことによつて はどの寝度でせうか。又/大連市の噪音有支明の息度に浴してゐますが 腸の高度の酸強により草ける利 害でせうか。又/大連市の噪音都會人は田舎の人造に較べて物 もその一つで一般機械。交通機 一種/噪音/はどの寝度まで有

滿鐵衞生研究所

「何れの壁でも内地より買入れる たらよいでせうか(華天・橋の友) 籠を買ひた

を掛けると「何しろ

肺門淋巴腺腫 個をもつてるます

又結核とは、どんな 【問】 職機 医療場は何常 張とは何か?

る職隊を作びた動物は外 をみ込んで、けろりと こと、網んだネ かな物

經濟講話 (暴育 用方面細亜の現情と各地民族の 見るので初 思考) 監

來ると蛇に否まれるやうなことは ロレンスのもとに 現 代英米文學の若手新進權載者十四 代英米文學の若手新進權載者十四 にの総合的ロレンス研究集ともい にの総合的ロレンス研究集ともい 細分

大吉林社佛華堂、三〇饋 (相所、三五銭) 東京、芝、田村

之 (七月號) 東京、芝、

O鍵 東京

まられるが たら季か君が代で見られる

徐原剤 屋業治療無効の方に大連聖徳田四丁日

一般で、その髪を聞くと、いかによ 髪を立てょ、雨を呼ぶのはこの縁 いつて反対してるる學者もあるや キン ゼヒノ 大計畫、大名案です グがな しぶりの

| 御期待下さい!



貴女が この一品こそ 標準色七色 合命 にピッタリ

明粧美を 常に憧れて居た 世界的逸品です 心ゆくまで表現する 問々の性器

渡潮ごした 素晴らしい咸鯛 美的な香り 美の威激

戦に上す時は水のかけらを浮べるで立派に出来上るのです、なは食で立派に出来上るのです、なは食

かいい

版作家の苦衷

非代謝二氏が四圓五十銭の ・買つたが、この頃は和服 ・買ったが、この頃は和服

を記したかいふ大きな心の動など が、内地のに比べると、一種に色 が無くて臓の黒斑が小さいのが樹 が無くて臓の黒斑が小さいのが樹 があるとかいふ大きな心のが樹

同じゃらに、色彩を區別する

で配の撒に或でもこし

思ふやうな怪物が戯しくないので

たいといり

てあります、なほ右妻の骸は他のとは眼せません。 率の増加は一二、といと、 本の増加は一二、といと、

もに、一方においては歌雨の緊張 **業者に依つて我々の心態とか顧内** 生理機能への影響

米るのは妨若小児です、臓器 路上は影響は綿製の

て見れば、先う蘇龍峻組ーしかも、どこかに言ひ知れしかも、どこかに言ひ知れ

一供の下痢症ご

リンゴ食療法

最大数を占めて居ること

洲兒童の死亡率 尼職は何んな解釈で最も

刻きは、観令編纂に

等の消化器類で多数の児童を配って、同は職災や表 火児童の**では** 別ふならば、 しめて居るといふことは、 他の解禁し

《和田町二八日本創作研究所 無賞文藝(創刊號)東京、進谷 特に夏痩せの謙防と恢復に 料養滋の許特賣專◆製創生先郎太孝橋高 士博學醫 た元氣・旺盛な體力は に野歌されます。似つてか野が帰つて食業なく寒せてみるべ、野果樹、アリノ戦は、いづれし蝦和の楽選索ですから、彼めば寄かは歌戦略として本運管です。『とりこの」のお成分である歌僧樹は歌戦略として本運管です。『とりこの お成分である歌僧樹 さに負けない 戦に駆散されて能力と元無を恢復し まけや刑策で消化機能の表へてゐる人 際野の築養、実快な美味は こいこので の無

せ的近代的お飲物です。 歴史を望む方の一日も手能

殺育の促進に 榮養の増進に… 表験の恢復に 消に

百貨店にあり、

★申込になれば無代で通ります。 所無見舞

その他乳児や病薬児にも

資東百 貨店支那及

というないです。 またかの字を名献したらのと思されますが、本語の報ものと思されますが、本語の報

愈さ廿二日に





滿人家屋を押し潰す 寺兒溝に大崖崩れ

無残な即死を遂げて居た

原射整演習を行ぶが、十九旦り嶋岩を中心に一帶の海

堅牢を誇る滿化棧橋も小破損

船は遅れるばかり

惡疫が心配 無れた後の

熱河聖戦の

殊勳者高田大尉

あす盛大に葬儀執行

も異變

全國中等野球の 洲豫選大會

廿七日より三日間奉天にて 本社主催で開かる 內山、提島。

貯める機の者は流石

逃亡兵 中日後】 省城に港 ・日後】省城に港 0

新興倶樂部の まいのですね」とは列車係員の

殘骸、公賣に

廿五日入札と決る

累月十 日大賣出

洋服店郷三十周年記念

年以上の動機者だ の中には一点

質が一萬。二萬の首の廻らぬ

名物にうまいもGあり林

をはネオン美しき運動のへをはネオン美しき運動的へ 洋行の羊羹 000 大林 山通

ア、ラ、モードのデルコで……
又、いろ~~の御附屬設なら、お仕立なら 洋城百貨 通》電電三·五·〇九 大連連鎖街

忠魂碑除幕式

(可認物便即建三第)

故人を偲ぶ

料金を改正

一區五十錢ごして

~近く實施する

行く國都の一あるが、同時に市民の足とも 新京――殊一般容は漸くその前目を一新し

下に家あり… [時兒溝崖崩]

各地溫度

3 夏明地

金田乙彌氏 [奉天電話]

能罪ある にあたも

金貸に流用する男 しては 田學氏は家族同揆、二十日午前九時歳おじあで山際、中西兩層歐理・事はか多數運動關係者の見送を受けて計奪した

御家庭での寫真は

奥様の

御手で

連月入荷の新型力メラ

奉天・大連・新京・ハルピン

水村洋行

ラの店

23−3861

祚

外者の情感部では の手書となつて ▽放井上

兵少佐 實務勝目于

林田氏赴任す

【大阪特置二十日酸】人形浴

文樂座一行

明日は日曜 連鎖街の柳屋には海水浴用品山の 海へ々々!

海水着一着御買上毎に帰水着入れバック進呈 やうに取揃ひ、殊に自慢の最新型

半額から三割引 (最低値四十億より)

募集句票

一日より廿五日まで五日間する参考品陳列會

神 墨 林

御會

内二人圆二二錢 內二人圓五九錢 內二人圓五九錢

葬御 親戚友人

海喇地獄(その八)

子

介

齑

(150)

新九郎の憶むる

とさへ際じて、新九郎は飛びすった。
動を云ふひまもないのだ。
でで、が、平馬は飽くまで攻勢だったが、平馬は飽くまで攻勢だったが、

東の冷たさに、新九郎は、皆。を チラッと感じたそんな切迫した

めて、常暖に纏へて、チリー、ふるひ立つた。飛びさつ

に護疳 に裏切 の値山 にれずた

七大四一京東書班

ってくる難ひには、 を転号に、 と聴みかへしたが、 を転号に、 別も 平 馬は遊芽に 監倒して来た。 剣も 平 馬は遊芽に 監倒して来た。 剣も

印刷服

丸掃霧用症重

先天梅

師長壽園本邸

日社印刷所

重症用套指丸

小兒たい毒

おのれをとり逃かす事既に二回

二人は始めて既みあった。

頭九郎の顔色も襲つて

んで、心起った眼も口も喘

さる

しをつたな。うねつ今度こそつしてまで単性未練に逃げかくれいた

满

時に刀を抜き放ってゐた。 時に刀を抜き放ってゐた。 の外に で、並上った二人は、同 間に二人の難は離けたやうに草漑 にかはずひまもなく、アッと思ふ にかはずひまもなく、アッと思ふ きなり眼の的に難り出して、

社人にひと した。 今はもはや、 がいをもつた に裁獄をにじませて睨みあつた脈 天気地異の殺気だった雰囲気は

山上で は、蒼台になった初音を

一十二月 「さのれつ:

東とて、游石の新九郎も厳しかね 事とて、游石の新九郎も厳しかね

職のをのゝき。初音を探し求める ことで、無我夢中で配けつけて來 る途中を、いきなりさへぎられ、 なりまなりさへぎられ、 が、都部臓を見なかつたか」 「見た、上にゐた」 も荒れしく猛り狂つて來るのであ 「貴機つ、初音殿に塗はなかつた あらゆる愤怒の激励。新九郎の心

は跳

3

耳鳴

凝、

概のやらに、新九郎は刀をふつ 「退かぬかつ、退かねとら スピロヘ 梅毒芽生えの

手當は今が

梅毒、體毒 が自身に於てどんなに怖血の時代は過ぎて實行が焦層の時代は過ぎて實行が焦層の時代は過ぎて實行が焦層のいるが、又どうしいものか、子孫に對血のが、子孫に對しているが、子孫に對しているが、子孫に對しているが、子孫に對しているが、子孫に対しているが、子孫に對しているが、子孫に對しているが、子孫に對しているが、子孫に對しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対したが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、子孫に対しているが、大きないるが、子孫に対しているが、大きないる。 持ょく

體毒を排泄する **(事の出來ぬ**

兆を豫知 脳溢血の前

眞價を知れ

海草精劑の

梅毒治癒の要件 発疫素の増殖も

眠を起す 高血壓は不

が勝った戦闘の一部状として最も多くの人々が勝った戦闘のでするものは夜間不能です、不戦といっても全然既られないのでなく、要っきが認かつたり、要ても夢を多く見るとかってした音響に目を睨ましたか!〜製つかれないのです。一次は高明殿の場合に多く根とる現象で此で戦が震きますといよく、関っないのです。一次は高明殿の場合に多く根とる現象で此で戦を休ませ充分戦闘がれば前の間に駆役回を聴してしばいる。というないのでは、一般にある現象で此で戦略を作ませ充分戦闘がれば前の場合に多く根というないのですが、要ったない。

重症用毒捲丸

河合洋行河合洋行

東四百九十二能人 二 関 一二千四百能人 二 関 一二十四百能人 二 関

不眠、便秘引尿、層のコリ、心管ウマチス、ヒステリー、心管

小家七小Vや伊藤長兵衛

感

動脈硬化を治療し工座を 下げ脳溢血を豫防せられ 重頭、 便秘、 防げばよい 動脉硬化を 不眠

程安全です

作用を鶯み、 總ての炎症疾患に用ふれば、消炎、鎭痛、滲出液吸收の諸 エキホスの貼布は最も合理的なる新療法として推奬せられ 患者に爽快の感を與へて治癒に赴かしむ。

て副作用なく看護者の手敷を省き得らる。 液狀濕布の如き不便と不快感なく、用法また簡便にし 近時類似粗悪品多数あり必ずエキホ スと御指名希よ

二五二〇 千〇〇〇 五五五五 要

店商衛兵長田武 世紀式株 野塩 社會名合巴二 元造製 元賣發

(基達代無集告報職實)

0.14 (E)

能 ないべい ない 人間 できょく 乗り週分十五銭 三週分一 同日銭 かい との と ない ない 使一週分五十銭 五週分二 画 は といい ない は とし 乗り週分十五銭 三週分一 同日銭 津表門筋 九二七南電・三七九阪替振

肛 性病科、X 光線科 科 院

近

大連市三河町四 院長ドラートル 電話二・五四九六番 近藤寬次郎 院



品の存在を御想起下さいで依り貴下の高價なるエンヂンの性能を損じぬ様の注意願ひます

イリス商會 他町一五 ユ部 ション

頭痛吃

價藥

(A1 併用)

麻疹 (はしか)

木メオパシー

P9

音景 行

尚州總代理店

大連市伊勢町

爾話